

サーマルプリンタ

RP-F10 シリーズ

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、
正しくお取り扱いください。
お読みになった後も必要なときすぐ見られるよう、
大切に保管してください。

セイコーインスツル株式会社

Rev.01 2019年 3月
Rev.02 2020年 1月
Rev.03 2020年 8月
Rev.04 2021年 10月
Rev.05 2023年 2月

©セイコーインスツル株式会社 2019-2023

無断転載を禁じます。

本書の内容は、断りなく変更することがあります。

SII ● はセイコーインスツル株式会社の登録商標です。

Bluetooth®はBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

Nマークは NFC Forum, Inc. の米国その他の国における商標または登録商標です。

Android™はGoogle LLC.の商標です。

IOS(iOS)は、Cisco System, Inc.の米国およびその他の国における
商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

本製品を運用した結果の影響による損失については、当社は一切の責任を負いかねます。

本製品は、産業機器用途の製品として開発されています。

この装置はクラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品はRoHS指令（2011/65/EU）に適合しております。

Bluetooth搭載モデルは電波法に基づく技術基準適合証明(認証番号：001-A00551)を受けた
特定無線設備を内蔵しております。

1 はじめに

このたびはサーマルプリンタRP-F10シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書では、サーマルプリンタRP-F10シリーズ（以後、プリンタと呼びます）とオプション製品
のACアダプタ、ACケーブルなどの取り扱い方法について説明しています。

ご使用の前に必ず「2 安全上の注意」「3 お取り扱い上の注意」をよくお読みの上、製品を安全に正しく
お取り扱いください。



この取扱説明書はお読みになった後も、必要な時すぐに見られるよう、大切に保管してください。

この取扱説明書の構成は下記のようになっています。

1	はじめに	1
2	安全上の注意	2
3	お取り扱い上の注意.....	5
4	準備	8
5	機種分類	10
6	プリンタ各部の名称.....	11
7	電源の接続方法.....	15
8	感熱紙のセット方法.....	16
9	紙ジャムの予防と除去方法	20
10	テスト印字.....	22
11	機能設定	26
12	ホスト装置との接続.....	29
13	周辺機器との接続	34
14	58mm紙幅使用時の設定方法	39
15	オプション製品の取り付け方法	42
16	プリンタのメンテナンス.....	45
17	困った時に.....	46
18	仕様	47
19	オプション製品、消耗品構成.....	50
20	メモリスイッチ設定内容一覧.....	52

2 安全上の注意

この安全上の注意では製品を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、下記の記号を使って注意事項を喚起しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



左の絵表示は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



左の絵表示は禁止行為であることを告げるものです。



の表示例は「分解禁止」を表しています。



左の絵表示は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。















の表示例は「電源プラグをコンセントから抜いてください」ということを表しています。



■ご使用上の注意

下記の説明の中の「製品」とは、プリンタとオプション製品のACアダプタ、ACケーブルを示します。



警告

下記の事項は絶対に行わないでください。火災や感電、事故の原因になります。	
	製品の内部や隙間に金属片や水などの異物をいれないでください。
	製品の端子、電源コネクタ、ACプラグ、DCプラグの端子部に触れないでください。 製品の端子間、電源コネクタの端子間、ACプラグの端子間、DCプラグの端子間を金属などの導体でショートさせないでください。
	製品を濡らさないでください。
	濡れた手で製品に触らないでください。
	製品の分解や改造をしないでください。
	プリンタには指定のACアダプタ、ACケーブル以外は使用しないでください。
	ACアダプタは、指定された電源電圧以外で使用しないでください。
	製品の端子、電源コネクタ、ACプラグやDCプラグの端子部に、ほこりや金属物を付着させないでください。
	製品のACプラグやDCプラグは差込みが不完全な状態で使わないでください。
	ACケーブル、ACプラグやDCプラグを破損させないでください。ACケーブルを無理に曲げる、上に重いものを載せる、ひっぱる、ねじるなどの破損させる行為をしないでください。
下記の事項は絶対に守ってお使いください。火災や感電、事故の原因になる可能性があります。	
	製品は法規制に適合している国でのみご使用ください。 製品安全を確保できない危険がある上、法規違反に問われる場合があります。
	ACケーブルをコンセントから抜く時はプラグ部分を持って外してください。








無線通信

下記の事項を守ってお使いください。	
	航空機内など、使用が禁止されている地域や区域では電源スイッチをオフにしてください。
	医療用機器や電子機器に影響を及ぼす場合があります。各機器メーカーあるいは販売元に電波による影響についてご確認ください。

異常発生時の対応

下記のような場合は記載内容に従ってください。火災や感電、事故の原因になる可能性があります。	
	<p>製品が下記のような場合は、プリンタの電源スイッチをオフにし、ACプラグをコンセントから抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 異常状態から回復できない時 ◆ 異臭がする、煙が出た、異常に熱い、または異常音の発生など通常と異なる時 ◆ 内部や隙間に、金属片や水などの異物が入った時 ◆ ケースが壊れた時
	ACアダプタ、ACケーブルのケーブルが傷んだ場合は、ACプラグをコンセントから抜いてください。傷んだACアダプタ、ACケーブルは使用しないでください。

⚠️ 注意

下記の事項を守ってお使いください。火災や感電、事故の原因になる可能性があります。	
	製品を長期間使用しない場合やお手入れの際は、電源スイッチをオフにし、ACプラグをコンセントから抜いてください。
	<p>製品を下記のような場所で使用、保管しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 直射日光の当たる場所、高温になる場所 ◆ 湿気や埃の多い場所、水分のかかる可能性がある場所 ◆ 振動の激しい場所、不安定な場所
	製品を使用する際は、上に布などをかぶせないでください。
	印字直後のサーマルヘッドは高温になっていることがありますので、絶対に触らないでください。紙詰まり除去やヘッドクリーニングは、サーマルヘッドが冷えていることを確認してから行ってください。
	<p>オートカッタ付きプリンタの紙排出口にはカッタの刃がありますので、指などを入れないでください。</p> <p>またプリンタのペーパーカバー開放時には、カッタの刃に直接触れないでください。</p>
	プリンタの動作中に髪の毛等の巻き込まれやすいものをプリンタに近づけないでください。それらがプリンタ内部に巻き込まれた場合には、ケガや故障の原因となります。
	乳幼児の手の届かないところに置いてください。

3 お取り扱い上の注意

製品の性能を発揮、維持するために、下記のことにご注意して正しくお使いください。

■ ご使用に際して

使用環境に関する項目

- ◆ 落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。
- ◆ 直射日光が当たる場所には置かないでください。
- ◆ 周囲の温度や湿度に気を付けてください。

使用に適した環境は下記のとおりです。

- 温度の範囲：5℃～45℃
- 湿度の範囲：10%RH～90%RH（結露なきこと）

各温度での保証可能湿度は「18 仕様」を参照してください。

- ◆ 複写機のモータなど強い磁気を発生するもののそばに置かないでください。
- ◆ 腐食性ガスやシロキサン雰囲気のある場所などには設置しないでください。
- ◆ ACアダプタやACケーブルは、ノイズを発生する装置と同じコンセントに接続しないでください。

使用・動作時に関する項目

- ◆ 感熱紙をセットしない状態での印字はしないでください。
- ◆ 感熱紙同士をセロハンテープ等でつなぎ合わせての使用はしないでください。
- ◆ 感熱紙をセットした状態で、感熱紙を無理に手で引っ張ったりすることは絶対にしないでください。
- ◆ 印字中及び切断中はペーパーカバーを開放しないでください。
- ◆ 印字中及び通信中に各インタフェースのケーブルの着脱はしないでください。
また、印字中に各インタフェースのケーブルのプラグ部分には触らないでください。
- ◆ プリンタを取り扱う際には、静電気に十分ご注意ください。静電気が放電されると、USB通信が切断されることがあります。
この問題が発生した場合、プリンタに接続されているUSBプラグをホスト装置より取り外し、数秒の時間をあけ再度接続してください。
- ◆ サーマルヘッドに水分が付着した状態で使用しないでください。故障の原因となります。
- ◆ 低温環境や高印字率で印字を行った場合、印字に乱れが生じたり、印字音が大きくなる場合があります。ただし、これは感熱紙の性質上発生する現象であり、プリンタの故障ではありません。
- ◆ 高印字率の印字を続けた場合、サーマルヘッドの蓄熱により非印字部でも発色することがあります。実機にて事前に十分確認してください。
- ◆ 印字を開始する場合、または印字及び紙送りを停止状態から再開した場合は、数ドットラインで紙送りが乱れる場合があります。ビットイメージ等を印字する場合には、印字を開始する時に24ステップ以上の紙送りを行い、中断せずに印字してください。
- ◆ 紙送りモータが発熱して故障の原因となりますので、連続印字及び紙送りは下記の制限時間内でご使用ください。
 - 環境温度 35℃：4.4分以下
 - 環境温度 45℃：3.5分以下
- ◆ ACアダプタは使用中に若干熱を持つことがありますが異常ではありません。

- ◆ 感熱紙は必ず指定感熱紙をお使いください。指定感熱紙については、「19 オプション製品、消耗品構成」を参照してください。
- ◆ サーマルヘッドには直接触れないでください。汚れによる印字品質の低下や静電気による破損の恐れがあります。
- ◆ 感熱紙を交換する時など、ペーパーカバー開放時にはサーマルヘッド、ペーパーセンサ、プラテンローラに直接手を触れないようにご注意ください。ケガや故障の原因となります。
- ◆ ペーパーカバー等の開閉時に手や指等をはさまないようにしてください。
- ◆ オートカッタ付きプリンタの紙排出口にはカッタの刃がありますので、指などを入れないでください。
またプリンタのペーパーカバー開放時には、カッタの刃に直接触れないでください。
- ◆ プリンタの設置については、製品の機能及び安全性を確保するために、決められた設置方向を守ってご使用ください。
- ◆ RJコネクタが設けられていますが、これはドロウキック用コネクタです。
電話回線には接続しないでください。
- ◆ RJコネクタにUSBケーブルやイーサネットケーブルを絶対に接続しないでください。
- ◆ 製品内部へクリップ、虫ピン、ネジ等の異物などを落としたり入れたりしないでください。
- ◆ 製品に液体などをこぼしたり、薬剤などを吹きかけたりしないでください。
- ◆ 操作パネル部の操作はペン先などの鋭利なものでは絶対に行わないでください。
- ◆ 板金のエッジ部等で、身体や他の物を傷つけないように注意してください。
- ◆ プリンタはメッキ鋼板を使用しているため、端面にサビが発生することがあります。
- ◆ 設置場所から移動させる場合には、プリンタを両手でしっかり持って、プリンタをゆっくり上方に持ち上げるようにして、ゴム足を設置面から剥がしてください。プリンタを急激に引上げたり、水平方向に移動させたりすると、ゴム足が剥がれる、ゴム足表面が剥離する、外装が破損する場合があります。
- ◆ 使用中に異常が発生したら直ちに使用を中止し、ACプラグをコンセント等から抜いてください。
- ◆ サービスマン以外、プリンタの分解等を行わないでください。

無線通信に関する項目

- ◆ Bluetoothインタフェース使用時、通信時の周囲の電波環境により、通信が正しく行われなことがあります。これは無線通信規格であるBluetoothの仕様によるものです。
- ◆ Bluetooth搭載モデルは2.4GHz帯を使用します。他の無線LAN (IEEE802.11b/g/n) や電子レンジ等の同一周波数帯を使用する機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信が不安定になることがあります。この場合、干渉の起こる機器の電源スイッチをオフにするか距離を離してください。または、ホスト装置とプリンタをできるだけ近づけてください。

メンテナンスに関する項目

- ◆ 製品のケースが汚れている時は、柔らかい布で汚れを拭き取ってください。アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
- ◆ 各接続端子が汚れている時は、ご使用になる前に乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。汚れていると接触不良の原因になります。
- ◆ サーマルヘッドクリーニング時は、必ず綿棒などのやわらかいもので拭いてください。

保管に関する項目

- ◆ ご使用にならない時は、電源スイッチをオフにしてください。
さらに長時間使用しない場合は、ACプラグをコンセントから抜いてください。また、プラテン保護の為、感熱紙をセットしてください。

■感熱紙のお取り扱いについて

- ◆ 乾燥した冷暗所に保存してください。
- ◆ 固いもので強くこすらないでください。
- ◆ 有機溶剤の近くに置かないでください。
- ◆ 塩化ビニールフィルム、消しゴムや粘着テープに長時間接触させないでください。
- ◆ 複写直後のジアゾコピーとは重ねないでください。
- ◆ 糊付けする時は化学糊を使わないでください。
- ◆ ラベル紙、複写紙、及びミシン目の入った感熱紙は使用できません。

■廃棄時の注意事項

ご使用済みの製品を廃棄する時は、各自治体の条例または規則に従って廃棄してください。

■表記について

次のページ以降では「2 安全上の注意」で示した記号のほか、取り扱い上の注意事項や知っておいていただきたい事項を、下記のように表記して区分しています。

— 注 意 —

◆ 取り扱い上の注意事項

守らないと製品の性能を発揮できない、または製品の故障の原因となる注意事項です。

— ヒント —

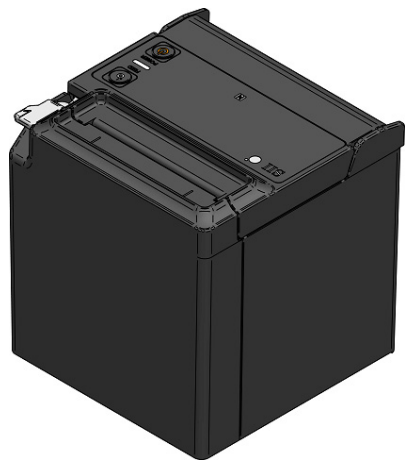
● 知っておいていただきたい事項

製品の性能や操作する上で知っておいていただきたい事項を説明しています。

4 準備

プリンタと付属品が入っていることを確認してください。

梱包箱と梱包材は、再輸送や長期保管の時に使用できますので、大切に保管してください。



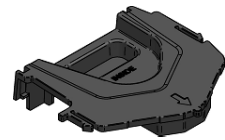
プリンタ



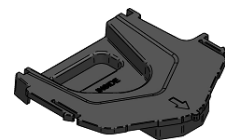
安全上の注意



クイックスタートガイド



パーテションプレートL



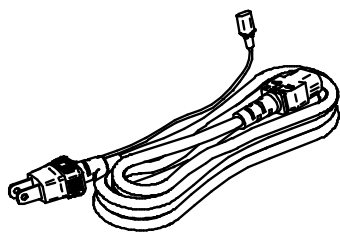
パーテションプレートR



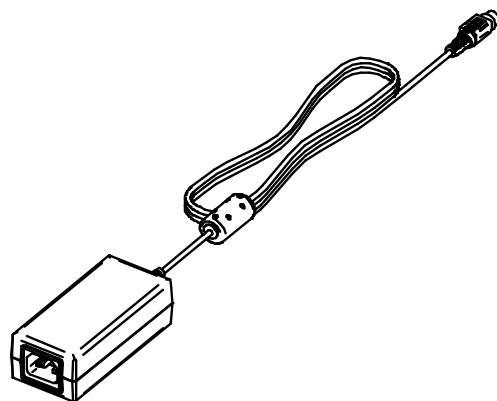
サンプル感熱紙

オプション製品には下記のものが用意されています。

「18 仕様」「19 オプション製品、消耗品構成」に記載されている指定製品を必ずお買い求めください。



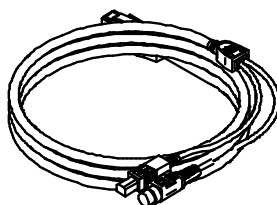
ACケーブル
(上図はCB-JP07-20A)



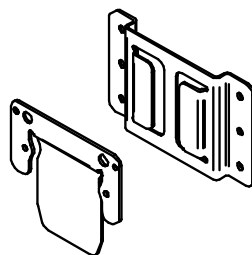
ACアダプタ



USBケーブル



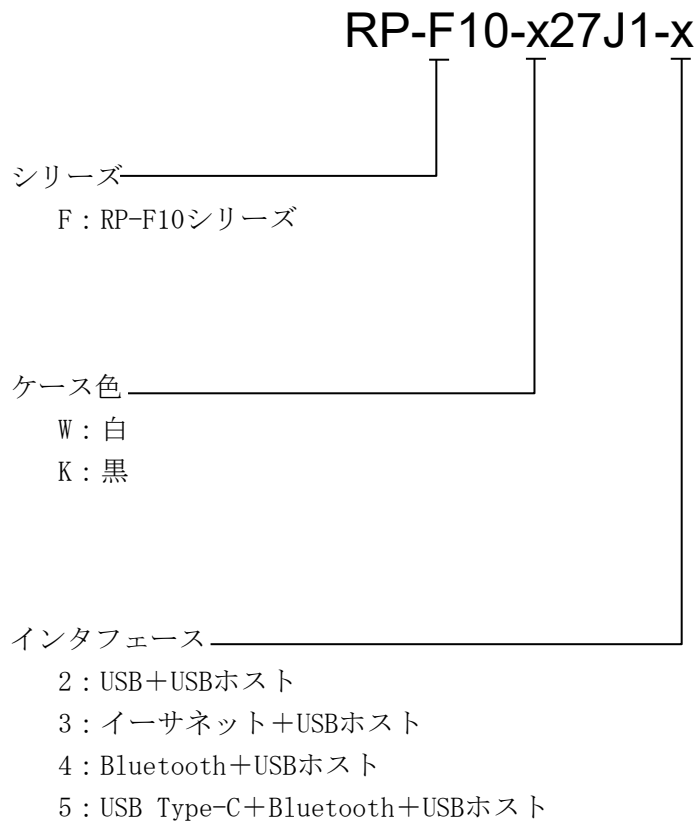
Powered USBケーブル



壁掛キット

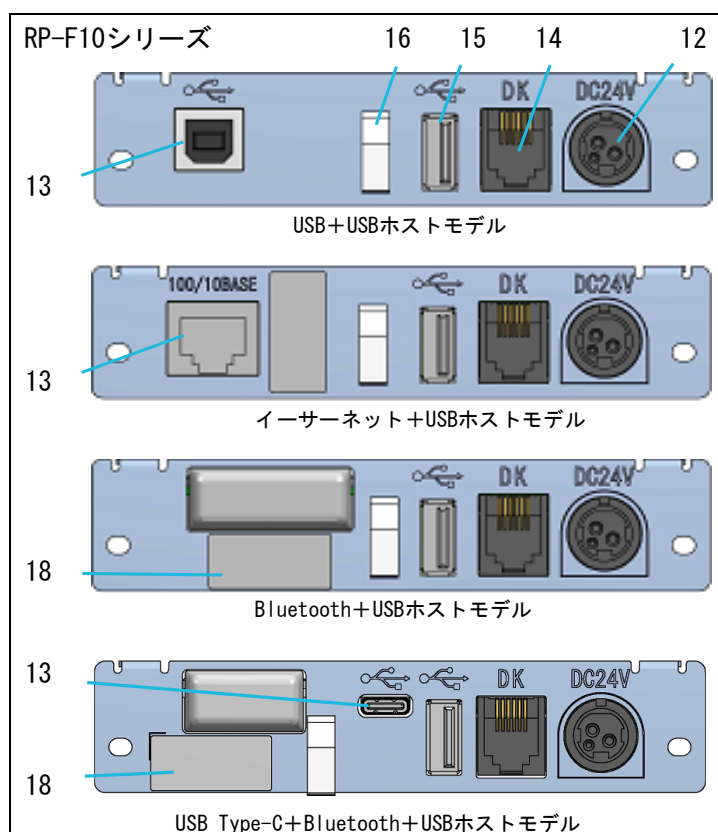
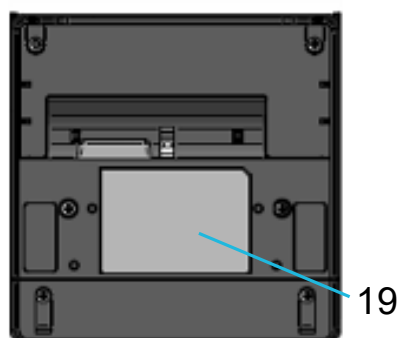
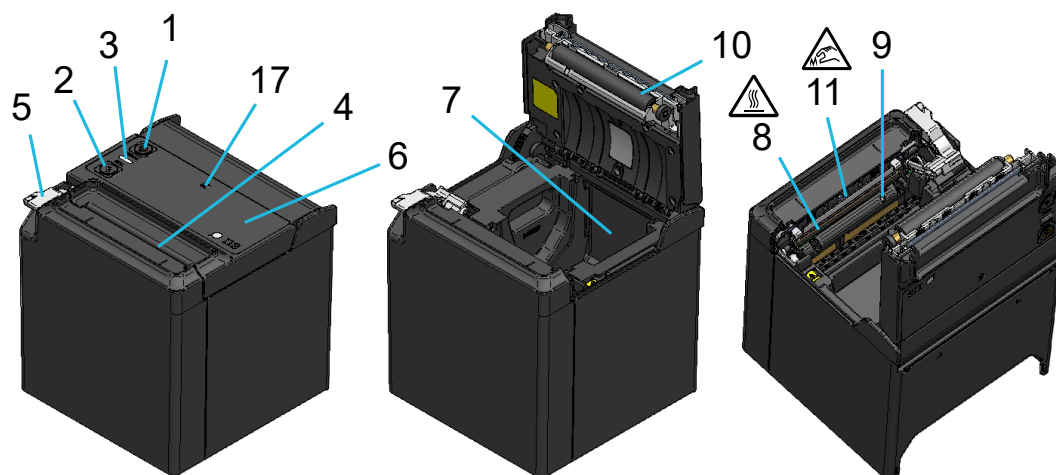
5 機種分類

下記の形式呼称方法により区分されます。



- ◆ お客様の装置から電源を供給いただく場合は、**RP-F10**の入力定格は「18 仕様」のプリンタ仕様に従ってください。
- ◆ 指定製品のACアダプタ以外の電源を使用する場合は、使用する国の安全及びEMCの規制に適合するよう、ご使用されるお客様で対処してください。

6 プリンタ各部の名称



1 電源スイッチ

電源のオン、オフを切り替えるスイッチです。電源がオンになるとLEDが点灯します。電源をオフに切り替える時は、3秒以上押し続けてください。

2 フィードスイッチ

紙送りを行うスイッチです。押し続けると、感熱紙が連続して送り出されます。

3 LED

電源がオンになると点灯します。詳細は次ページの「**■LED表示**」を参照してください。

4 紙排出口

感熱紙が排出されます。カッタが取り付けられています。

5 リリースレバー

感熱紙をセットする際、ペーパーカバーを開けるためのレバーです。紙ジャムが発生した場合、ペーパーカバーを開ける際にも使用します。

6 ペーパーカバー

このカバーを開けるとプラテンが感熱紙から離れます。感熱紙の交換やサーマルヘッドをクリーニングする時に開けてください。

7 ペーパーホルダー

感熱紙をセットします。

8 サーマルヘッド

感熱紙にデータを印字します。印字直後は高温になっていることがありますので、手で直接触れないように注意してください。

9 ペーパーセンサ

感熱紙の有無検出用のセンサです。

10 プラテン

感熱紙とサーマルヘッドを密着させます。回転することにより感熱紙の紙送りを行います。

11 カッタ

印字終了時に自動で紙をカットできます。ペーパーカバー開放時には、カッタの刃に直接触れないでください。

12 電源コネクタ

ACアダプタを接続します。

13 インタフェースコネクタ

各インタフェースのケーブルを接続します。

14 ドロウキック用コネクタ

ドロウまたは外付けブザーを接続するためのコネクタです。

電話回線、USBケーブル及びイーサネットケーブルを接続しないでください。

15 USBホスト用コネクタ

USBホストインタフェースを接続するためのコネクタ（USB Type-A）です。

16 ワイヤクリップ

通信ケーブルが抜けないように固定できます。

17 Nマーク

（RP-F10-x27J1-4/RP-F10-x27J1-5のみ）

NFCタグの位置を表示しています。NFC対応端末をこのマーク上に近づけることで、端末とプリンタとの接続が容易にできます。

18 アドレスラベル

製品ごとのBluetoothアドレスまたはMACアドレスを表示しています。

19 銘板

製品名、定格及びシリアル番号を表示しています。

■LED表示

プリンタの状態	LED（色）*1	LED（点灯パターン）
電源オフ	－	消灯
電源オン（印字待機時）	青*2*3	点灯*2
印字中	緑	点灯
テスト印字開始待ち	緑	点滅-2
出力バッファフル	緑	点滅-1
紙無しエラー	ライムイエロー	点滅-1
カバーオープンエラー	ライムイエロー	点灯
ハードウェアエラー	赤	点灯
USBホストエラー	赤	点滅-1*4
USBホスト（無応答）エラー	赤	点滅-2*4
USBホスト（ハブ）エラー	赤	点滅-3*4
ヘッド温度エラー	紫	点灯
電圧エラー	紫	点滅-1
カッタエラー	紫	点滅-2
ペアリングモード	青	点滅-2
ファームウェア書き換え中	白	点灯

*1：製品の個体差と見ている角度により、色合いがばらつくことがあります。

*2：工場出荷時の値

*3：USB Type-C+Bluetooth+USBホストモデル（RP-F10-x27J1-5）時は、下記になります。




青：USB通信有効、iOS/Android接続モード

緑：USB通信有効、Windows接続モード

アクア：USB通信無効

*4：5秒後に直前のプリンタの状態表示に戻ります。

■LEDの点滅パターン

状態	パターン
点滅-1	
点滅-2	
点滅-3	

■エラー内容とその復帰方法

エラーが起きると印字動作を停止します。ただし、データ受信は行います。下記にエラー内容とその復帰方法を示します。

エラー	エラー内容	復帰方法	優先順位*1
復帰待ち	紙無しエラー、カバーオープンエラー、カッタエラー、電圧エラーの解除後にこの状態になります。	約1秒後に復帰待ち状態は解除され、印字可能状態になります。	-
出力バッファフル	プリンタの出力バッファがフルの状態です。	ホスト装置より応答データの読み出しを行ってください。	1
紙無しエラー	感熱紙がない状態です。	ペーパーカバーを開けて感熱紙をセット後、ペーパーカバーを閉めてください。	2
カバーオープンエラー	ペーパーカバーが開放状態です。	ペーパーカバーを閉めてください。	3
カッタエラー	カット時の紙ジャムなどによるカット不良状態です。 ・カッタワークロックエラー（カッタの刃がホームポジション*2から飛び出して動かなくなる状態） ・カッタホームロックエラー（カッタの刃がホームポジション*2から動かなくなる状態）	ペーパーカバーを開けてエラー要因を取り除いた後にペーパーカバーを閉めると自動復帰します。 ペーパーカバーが開かない場合や自動復帰しない場合は、「9 感熱紙のセット方法」の「カッタエラー除去方法」を参照してください。	4
電圧エラー	電源電圧が許容範囲外です。	電圧を許容範囲内に戻すと自動復帰します。	5
ヘッド温度エラー	ヘッド温度約85℃以上に上昇した状態です。	ヘッド温度が約80℃以下になると自動復帰します。	6
USBホストエラー USBホスト（無応答）エラー USBホスト（ハブ）エラー	USBホストインタフェースが異常状態です。*3	異常状態を解除してから、周辺機器を接続してください。	7
ハードウェアエラー	サーマルヘッドまたは回路基板に異常が発生した状態です。	復帰は不可能です。 修理を依頼してください。	8

*1： 複数のエラーが同時に起こった場合の優先順位を示します。数字が大きいほど優先順位が高くなります。例えば、「カバーオープンエラー」と「紙無しエラー」が同時に起こった場合、優先順位の高い「カバーオープンエラー」がLED表示されます。

*2： カッタの刃はホームポジション（刃が収納されている状態）を起点に動作します。

*3： 異常状態とは主に下記の状態を示します。

- ・サポートされていない周辺機器を接続
- ・過電流を検出
- ・USBハブを経由して周辺機器を3台以上接続
- ・USBハブを経由して同種の周辺機器を2台以上接続
- ・周辺機器からの応答が無い
- ・2段以上のUSBハブを接続
- ・Type-CポートにUSBハブを接続

7 電源の接続方法

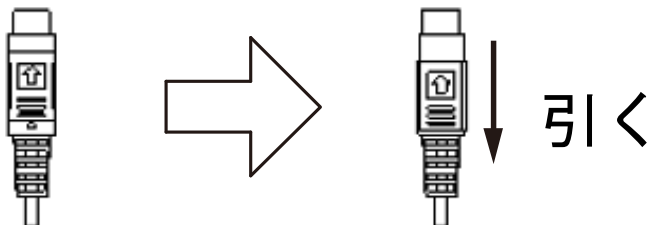
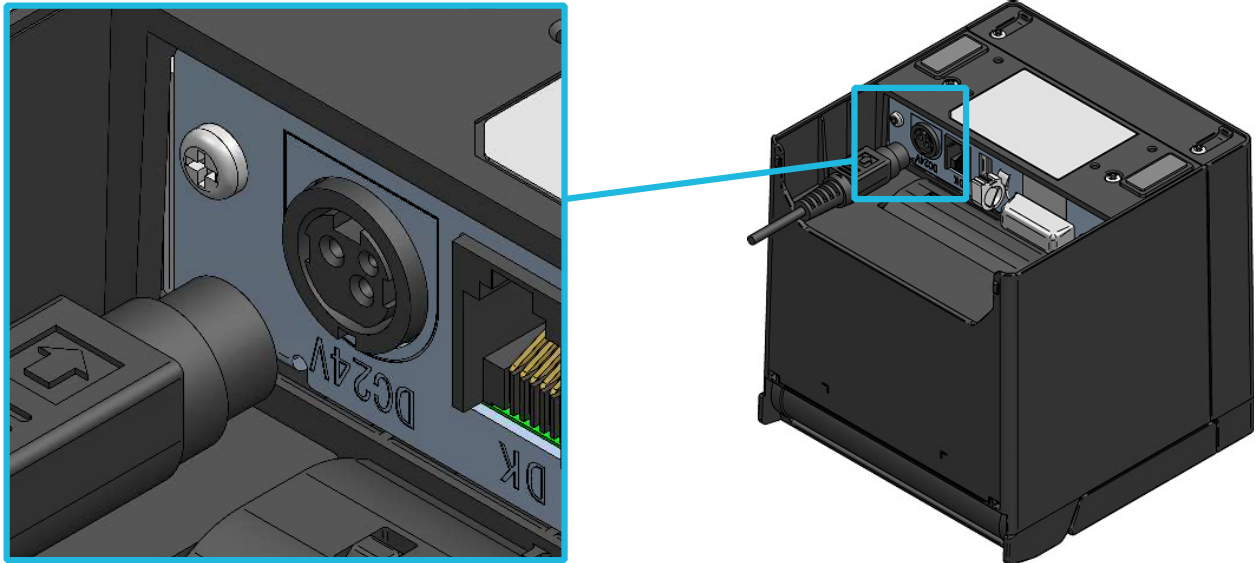
プリンタへの電源供給は、ACアダプタを使用します。

ACアダプタについては必ず「18 仕様」を参照してください。

ACアダプタ及びACケーブルはオプション製品です。「18 仕様」「19 オプション製品、消耗品構成」に記載されている指定製品を必ずお買い求めください。

■ACアダプタの接続

- ① ACアダプタにACケーブルを接続してください。
- ② ACアダプタのDCプラグをプリンタの電源コネクタに接続してください。



DCプラグのロック解除方法

- ③ ACケーブルのACプラグをコンセントに接続してください。

注 意

- ◆ DCプラグはプリンタの電源コネクタに、正しい向きで差し込んでください。
誤った向きで強引に差し込むと、破損の原因になります。
- ◆ DCプラグを抜き差しする場合、必ずACケーブルのACプラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ◆ プリンタの電源コネクタは、ロック式となっております。
DCプラグの表側に示された矢印と反対方向に引くことによって、ロックが解除されます。
DCプラグを外す時は、図のようにロックを解除してから行ってください。
- ◆ 長時間使用しない時はACケーブルのACプラグをコンセントから抜いてください。

8 感熱紙のセット方法

プリンタの印字用紙には、感熱ロール紙（以降、感熱紙とします）を使用します。

感熱紙は、印字面が外巻きのものを使用してください。

使用する感熱紙によってプリンタの機能設定が異なりますので、詳細は「11 機能設定」を参照してください。

■ 感熱紙のセット方法

① リリースレバーを図 8-1、図 8-2の矢印方向に操作し、ペーパーカバーを開けてください。

上排出の場合

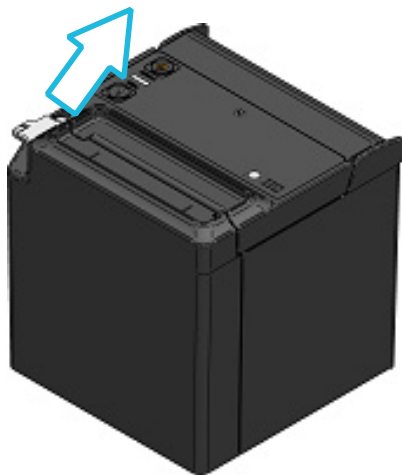


図 8-1 リリースレバー（上排出）

前排出の場合



図 8-2 リリースレバー（前排出）

② 感熱紙の糊付け部を剥がしてください。

③ 感熱紙の方向を図 8-3、図 8-4のようにして、ペーパーホルダに静かに投入してください。

上排出の場合

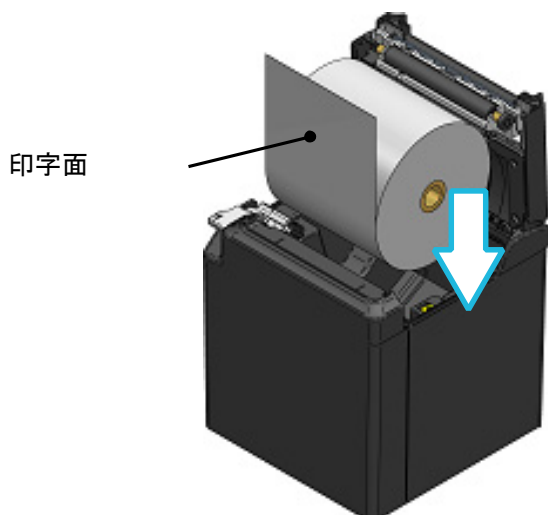


図 8-3 感熱紙セット方向（上排出）

前排出の場合

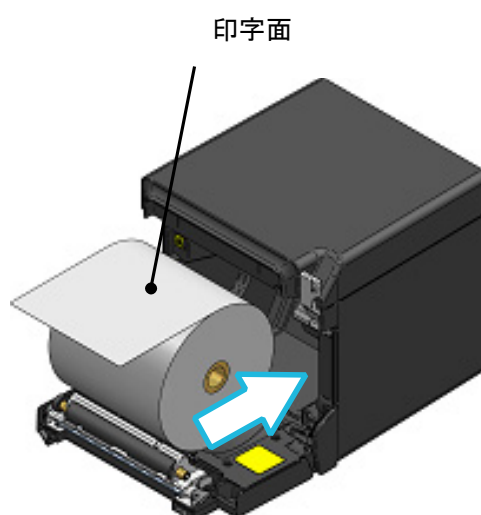


図 8-4 感熱紙セット方向（前排出）

注 意

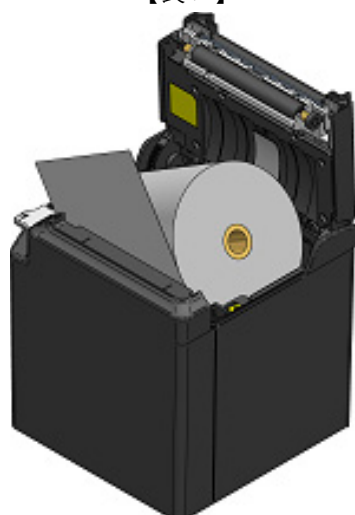
◆ カッタの刃に直接触れないでください。

④ 感熱紙をまっすぐに引き出してください。感熱紙が斜めにならないようにしてください。

上排出の場合



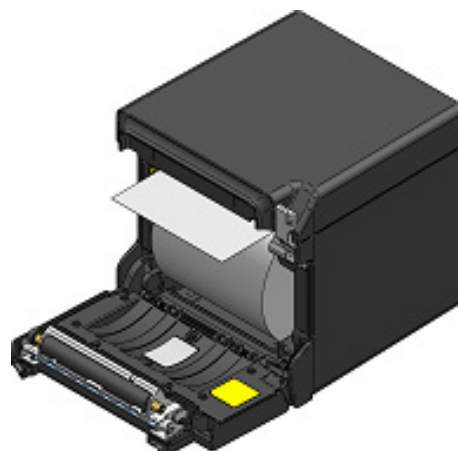
【良い】



【悪い】

図 8-5 感熱紙セット状態（上排出）

前排出の場合



【良い】



【悪い】

図 8-6 感熱紙セット状態（前排出）

- ⑤ 図 8-7、図 8-8の矢印部分をしっかりと押し、片閉まりしないようにペーパーカバーを閉めてください。

ペーパーカバーを閉めると、自動的に紙送りならびに紙切断が行われます。

上排出の場合

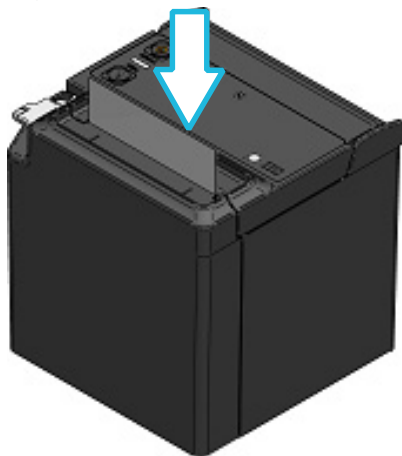


図 8-7 ペーパーカバー（上排出）

前排出の場合



図 8-8 ペーパーカバー（前排出）

注 意

- ◆ 感熱紙はまっすぐに引き出してください。
- ◆ ペーパーカバーをしっかりと押し、片閉まりしないようにペーパーカバーを閉めてください。
- ◆ リリースレバーは突き当たるまで操作してください。突き当たるまで操作しないとペーパーカバーが開かないことがあります。
- ◆ 紙排出口を塞いだり、出てきた感熱紙を押さえつけたりしないでください。紙ジャムの原因になります。
- ◆ プラテン及びプリンタのギアには触れないようにしてください。印字品質の低下や、故障の原因になる場合があります。

ヒント

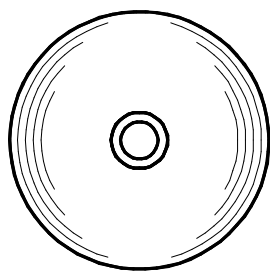
- 感熱紙をプリンタにセットしたままで長時間放置すると、周辺環境の変化を受け、感熱紙の表面がサーマルヘッドに貼り付き、感熱紙を搬送できない場合があります。この場合には、一度ペーパーカバーを開いて、サーマルヘッドから感熱紙を剥がし、再度ペーパーカバーを閉じてからお使いください。

■ 感熱紙の形状

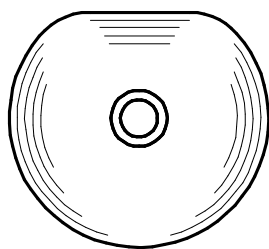
感熱紙は必ず指定感熱紙をお使いください。指定感熱紙については、「19 オプション製品、消耗品構成」を参照してください。

— 注 意 —

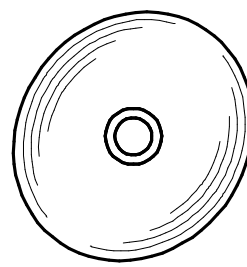
- ◆ 感熱紙は、終端が糊付けやテープ止め、及び折り返しをしていないものを使用してください。
- ◆ 感熱紙の芯の内径はφ12mm、外径はφ18mm以上のものを使用してください。



良い



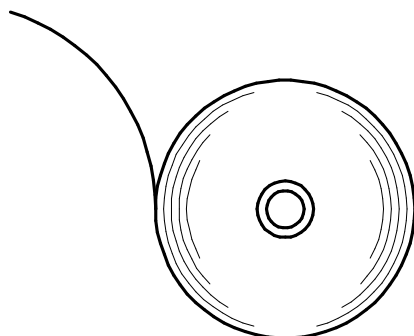
悪い



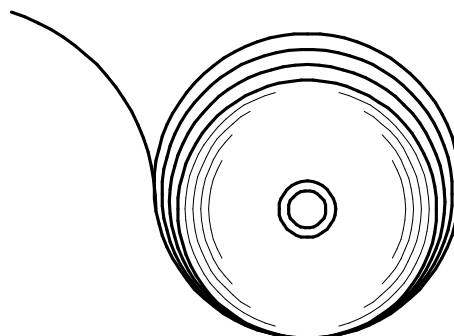
悪い

— 注 意 —

- ◆ 使用する感熱紙は変形がないものを使用してください。変形したものを使用すると故障の原因となります。



良い



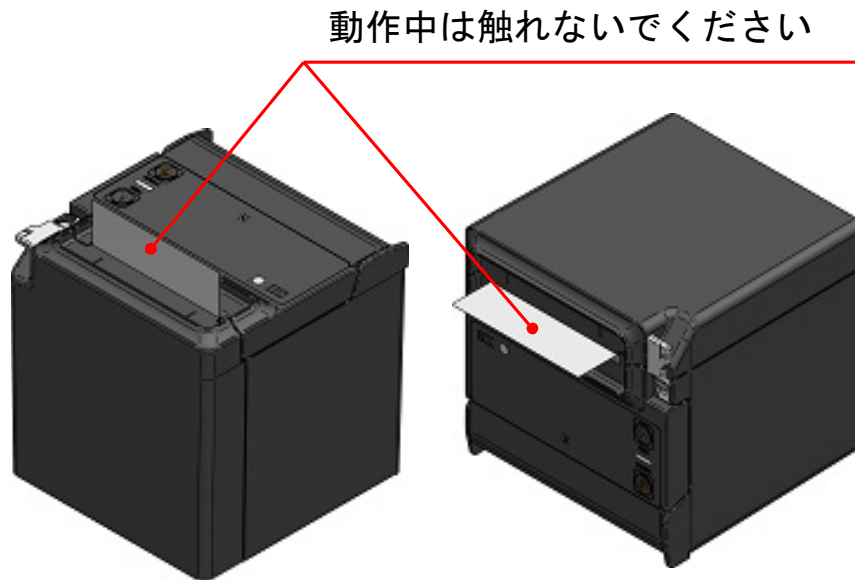
悪い

— 注 意 —

- ◆ 感熱紙をセットする時は、感熱紙にたるみ（解け）が無い状態でセットしてください。

9 紙ジャムの予防と除去方法

感熱紙の排出中や切断終了前は感熱紙に触れないでください。排出中に手で押さえたり、引っ張ったりすると紙ジャムや切断不良、または改行不良の原因になります。切断中にペーパーカバーは絶対に開けないでください。



■紙ジャムの除去方法

紙ジャムが発生した場合、下記の手順で感熱紙を除去してください。

- ① プリンタの電源スイッチをオフにしてください。
- ② リリースレバーを操作し、ペーパーカバーを開けて、紙ジャムを取り除いてください。

— 注 意 —

- ◆ 感熱紙を取り除く時はプリンタを破損しないように注意してください。
特にサーマルヘッドは破損しやすい部品なので、触れないように注意してください。

- ③ 感熱紙をまっすぐにセットして、ペーパーカバーを静かに閉じてください。
- ④ プリンタの電源スイッチをオンにしてください。
- ⑤ 正常に復帰した場合、LEDが青色の点灯に変わります。

— 注 意 —

- ◆ 印字直後のサーマルヘッドは高温になっていることがありますので、絶対に触らないでください。

■ カッタエラー除去方法

カッタエラーの発生により、カッタが切断中にロックしてペーパーカバーが開かない場合は、下記の手順で復帰してください。

- ① プリンタの電源スイッチをオフにしてください。

— 注 意 —

- ◆ カッタエラーの除去を行う時は危険ですので、必ず電源がオフの状態で行ってください。

- ② ペーパーカバーを押さえながら、リリースレバーを突き当たりまで繰り返し操作することによりカッタの刃が引っ込みます。その後、ペーパーカバーが開くようになります。紙ジャムが発生している場合は、紙ジャムを取り除いてください。
- ③ 感熱紙をまっすぐにセットして、ペーパーカバーを静かに閉じてください。
- ④ プリンタの電源スイッチをオンにしてください。
- ⑤ 正常に復帰した場合、LEDが青色の点灯に変わります。

— 注 意 —

- ◆ 紙ジャムを取り除く時は、ボールペンやドライバ、カッタナイフ等を使わないでください。また、プリンタを破損しないように注意してください。
特にサーマルヘッドは破損しやすい部品なので、触れないように注意してください。
- ◆ カッタの刃等で手を切ったり、ケガをしないように十分注意してください。
- ◆ カッタの刃に無理な力を加えないでください。

10 テスト印字

このプリンタはテスト印字機能を持っています。

テスト印字では、ファームウェアバージョン、機能設定の設定値などが印字されます。

- ① 「8 感熱紙のセット方法」に従って感熱紙をセットしてください。
エラーのない状態を確認してから、プリンタの電源スイッチをオフにしてください。
- ② フィードスイッチを押したまま電源スイッチを押し、電源スイッチから指を離してください。
テスト印字が開始されたら、フィードスイッチから指を離してください。
- ③ テスト印字が終了すると、感熱紙がカットされ、プリンタは印字可能状態になります。

```
RP series Interface
RP-F10 [ Ver X.XX ]
DO,MMW,YYYY
Copyright (C):SII

* MS1 *
4-5) Standby LED:Blue
7) Auto Activation by AC:Enable
8) Power SW:Enable

* MS2 *
1-2) Buzzer Count:None
3-4) Buzzer Pattern:Pattern1
5) Buzzer Volume:Loud

* MS3 *
1-2) Buzzer Count:None
3-4) Buzzer Pattern:Pattern1
5) Buzzer Volume:Loud

* MS4 *
1-2) Division Method:288[dots]
3) Head Drive:Dynamic
4) Paper Width:80[mm]
5) Effective Dots:576[dots]
7-8) Print Speed:High

* MS5 *
1) Auto Status Back:Enable
2) Init. Response:Enable
3) Error Through:Enable
4) Response Data Discarding:Disable
6-7) Paper Set Handle:Standard
8) Cutting Method:Full

* MS6 *
1-8) Print Density:100[%]

* MS7 *
1-8) Thermal Paper:Standard

* MS13 *
1) Kanji Code:JIS Code
2) Reverse Function:Disable
3) Realtime Command:Enable

* MS17 *
1-2) Paper Saving:Disable
3) Backfeed After Cut:Disable

* MS18 *
1-2) Buzzer Count:None
3-4) Buzzer Pattern:Pattern1
5) Buzzer Volume:Loud

* MS36 *
1) Scanner Auto Status Back:Disable

* Communication Type *
USB Communication
Control Model:RP-F10
USB Device Class:Printer

* Font Information *
Character Code Table:Code Page437
International Character:USA

* Serial Number Information *
XXXXXXXXXX
```

図 10-1 テスト印字例
(USB+USBホストモデル)


```

RP series Interface
RP-F10 [ Ver X.XX ]
DD.MMM.YYYY
Copyright (C) :SII

* MS1 *
4-5) Standby LED:Blue
7) Auto Activation by AC:Enable
8) Power SW:Enable

* MS2 *
1-2) Buzzer Count:None
3-4) Buzzer Pattern:Pattern1
5) Buzzer Volume:Loud

* MS3 *
1-2) Buzzer Count:None
3-4) Buzzer Pattern:Pattern1
5) Buzzer Volume:Loud

* MS4 *
1-2) Division Method:288[dots]
3) Head Drive:Dynamic
4) Paper Width:80[mm]
5) Effective Dots:576[dots]
7-8) Print Speed:High

* MS5 *
1) Auto Status Back:Enable
2) Init. Response:Enable
3) Error Through:Enable
4) Response Data Discarding:Disable
6-7) Paper Set Handle:Standard
8) Cutting Method:Full

* MS6 *
1-8) Print Density:100[X]

* MS7 *
1-8) Thermal Paper:Standard

* MS13 *
1) Kanji Code:JIS Code
2) Reverse Function:Disable
3) Realtime Command:Enable

* MS17 *
1-2) Paper Saving:Disable
3) Backfeed After Cut:Disable

* MS18 *
1-2) Buzzer Count:None
3-4) Buzzer Pattern:Pattern1
5) Buzzer Volume:Loud

* MS38 *
1) Scanner Auto Status Back:Disable

* Communication Type *
LAN Communication
MAC Address: XX:XX:XX:XX:XX:XX
IP Address: 192.168.0.190
Subnet Mask: 255.255.255.0
GateWay Address: 0.0.0.0
DHCP Client: Enable
Physical Layer: Auto Nego

* Font Information *
Character Code Table:Code Page437
International Character:USA

* Serial Number Information *
XXXXXXXXXX

```

表 10-1 イーサネット通信情報

項目	内容
MAC Address	MACアドレス
IP Address	IPアドレス設定
Subnet Mask	サブネットマスク設定
GateWay Address	ゲートウェイアドレス設定
DHCP Client	DHCPクライアント設定
Physical Layer	通信速度及び通信モード設定

図 10-2 テスト印字例
(イーサネット+USBホストモデル)

RP series Interface
 RP-F10 [Ver X.XX]
 DD.MMM.YYYY
 Copyright (C) :SII

* HS1 *

4-5) Standby LED:Blue
 7) Auto Activation by AC:Enable
 8) Power SW:Enable

* HS2 *

1-2) Buzzer Count:None
 3-4) Buzzer Pattern:Pattern1
 5) Buzzer Volume:Loud

* HS3 *

1-2) Buzzer Count:None
 3-4) Buzzer Pattern:Pattern1
 5) Buzzer Volume:Loud

* HS4 *

1-2) Division Method:288[dots]
 3) Head Drive:Dynamic
 4) Paper Width:80[mm]
 5) Effective Dots:576[dots]
 7-8) Print Speed:High

* HS5 *

1) Auto Status Back:Enable
 2) Init. Response:Enable
 3) Error Through:Enable
 4) Response Data Discarding:Disable
 6-7) Paper Set Handle:Standard
 8) Cutting Method:Full

* HS6 *

1-8) Print Density:100[%]

* HS7 *

1-8) Thermal Paper:Standard

* HS13 *

1) Kanji Code:JIS Code
 2) Reverse Function:Disable
 3) Realtime Command:Enable

* HS17 *

1-2) Paper Saving:Disable
 3) Backfeed After Cut:Disable

* HS18 *

1-2) Buzzer Count:None
 3-4) Buzzer Pattern:Pattern1
 5) Buzzer Volume:Loud

* HS38 *


1) Scanner Auto Status Back:Disable

* HS39 *

1) Auto Connection:Enable
 2) Security Mode:SSP
 3) Inquiry Response:Pairing Mode
 4) AssocModel:Just Works

* Communication Type *

Bluetooth Communication
 Printer Name : RP-F10
 Address : XX:XX:XX:XX:XX:XX



* Font Information *

Character Code Table:Code Page437
 International Character:USA

* Serial Number Information *

XXXXXXXXXX

図 10-3 テスト印字例
 (Bluetooth+USBホストモデル)

表 10-2 Bluetooth通信情報

項目	内容
Auto Connection	iOS自動接続設定
Security Mode	セキュリティモード設定
Inquiry Response	検索応答設定
AssocModel	アソシエーションモデル設定
Printer Name	プリンタ名設定
Address	Bluetoothアドレス

RP series Interface
 RP-F10 [Ver X,XX]
 DD,MM,YYYY
 Copyright (C):SII

* MS1 *

4-5) Standby LED:Blue
 7) Auto Activation by AC:Enable
 8) Power SW:Enable

* MS2 *

1-2) Buzzer Count:None
 3-4) Buzzer Pattern:Pattern1
 5) Buzzer Volume:Loud

* MS3 *

1-2) Buzzer Count:None
 3-4) Buzzer Pattern:Pattern1
 5) Buzzer Volume:Loud

* MS4 *

1-2) Division Method:288[dots]
 3) Head Drive:Dynamic
 4) Paper Width:80[mm]
 5) Effective Dots:576[dots]
 7-8) Print Speed:High

* MS5 *

1) Auto Status Back:Enable
 2) Init. Response:Enable
 3) Error Through:Enable
 4) Response Data Discarding:Disable
 6-7) Paper Set Handle:Standard
 8) Cutting Method:Full

* MS6 *

1-8) Print Density:100[%]

* MS7 *

1-8) Thermal Paper:Standard

* MS13 *

1) Kanji Code:JIS Code
 2) Reverse Function:Disable
 3) Realtime Command:Enable

* MS17 *

1-2) Paper Saving:Disable
 3) Backfeed After Cut:Disable

* MS18 *

1-2) Buzzer Count:None
 3-4) Buzzer Pattern:Pattern1
 5) Buzzer Volume:Loud

* MS38 *

1) Scanner Auto Status Back:Disable


* MS39 *

1) Auto Connection:Enable
 2) Security Mode:SSP
 3) Inquiry Response:Pairing Mode
 4) AssocModel:Just Works

* Communication Type *

USB Communication
 Control Model:RP-F10
 USB Device Class:Printer
 USB Communication:Enable
 Connection Mode:iOS/Android

Bluetooth Communication
 Address : XX:XX:XX:XX:XX:XX



Printer Name : RP-F10

* Font Information *

Character Code Table:Code Page437
 International Character:USA

* Serial Number Information *

XXXXXXXXXX

図 10-4 テスト印字例
 (USB Type-C+Bluetooth+USBホスト
 モデル)

表 10-3 USB Type-C+Bluetooth通信情報

項目	内容
USB Device Class	USBクラス設定
USB Communication	USB通信有効/無効設定
Connection Mode	USB接続モード設定
Address	Bluetoothアドレス
Printer Name	プリンタ名設定

11 機能設定

このプリンタは使用する条件や用途に合わせて各種の機能設定を行うことができます。
設定内容はプリンタに実装されたフラッシュメモリ内のメモリスイッチ（以後、MSとする）に保存されており、スイッチ操作、ソフトウェアまたはコマンド入力などにより設定できます。
本書ではスイッチ操作による設定方法について説明します。
メモリスイッチの設定内容は、「20 メモリスイッチ設定内容一覧」を参照してください。

— ヒント —

- メモリスイッチはソフトウェアからも設定できます。裏表紙に記載されているダウンロードページからソフトウェアをダウンロードしてください。
設定できるソフトウェアは下記です。
 - ・ Windowsの場合：
プリンタードライバに含まれる「SII Printer Setting Utility」
 - ・ iOS及びAndroidの場合：
App StoreまたはGoogle Playで提供するアプリ「SII Printer Utility」

■ スイッチ操作による機能設定の手順

スイッチ操作による機能設定は、プリンタを機能設定モードにして行います。
機能設定モードに入る場合には、下記の手順を行ってください。

- ① 「8 感熱紙のセット方法」に従って感熱紙をセットしてください。
エラーのない状態を確認してから、プリンタの電源スイッチをオフにしてください。
エラー状態については、「6 プリンタ各部の名称」を参照してください。
- ② フィードスイッチを押したまま電源スイッチを押し、電源スイッチから指を離してください。テスト印字が終了するまでフィードスイッチを押し続けてください。
- ③ テスト印字が終了後、図 11-1のモード選択のメッセージが印字されます。
機能設定モードに入る場合は、フィードスイッチを押してください。

```
[Enter Setting Mode]
Enter Setting Mode: Feed SW
Exit: Power SW
```

図 11-1 モード選択メッセージ

- ④ 機能設定モードに入ると、図 11-2の、設定するMSを選択するためのメッセージが印字されます。
選択するMSの番号の回数だけフィードスイッチを押してから電源スイッチを押してください。

```
[MS Selection]
0 : Exit
1 : MS1
2 : MS2
3 : MS3
4 : MS4
5 : MS5
6 : MS6
7 : MS7
8 : MS13
9 : MS17
10: MS18
11: I/F Setting
12: International Character
13: Character Code Table
14: Default Setting
Press the FEED switch an equal
number of times to the selected number.
After that, press the POWER SW.
```

- ・「11: I/F Setting」は、設定する項目が各モデルごとに異なります。
- ・フィードスイッチを1回押した場合、「1 : MS1」が選択されます。
- ・フィードスイッチを押さずに電源スイッチを押した場合、「0 : Exit」が選択されます。

図 11-2 MS選択メッセージ

- ⑤ 次に図 11-3の例のように、MSに割り当てられている機能を選択するためのメッセージが印字されます。
選択する機能の番号の回数だけフィードスイッチを押してから電源スイッチを押してください。

```
[Function selection of MS1]
0 : Return to MS selection
1 : Standby LED
2 : Auto Activation by AC
3 : Power SW
Press the FEED switch an equal
number of times to the selected number.
After that, press the POWER SW.
```

- ・フィードスイッチを1回押した場合、「1 : Standby LED」が選択されます。
- ・フィードスイッチを押さずに電源スイッチを押した場合、「0 : Return to MS selection」が選択されます。

図 11-3 機能選択メッセージ
(例：MS1を選択した場合)

- ⑥ 次に図 11-4の例のように、機能の設定値を選択するためのメッセージが印字されます。
選択する設定値の番号の回数だけフィードスイッチを押してから電源スイッチを押してください。

```
[Standby LED]
0 : Return to function selection
1 : Aqua
2 : Green
3 : Off
4 : Blue
Press the FEED switch an equal
number of times to the selected number.
After that, press the POWER SW.
```

- ・フィードスイッチを2回押した場合、「2 : Green」が選択されます。

図 11-4 設定値選択メッセージ
(例：Standby LEDを選択した場合)

- ⑦ 次に図 11-5の例のように、選択した設定値を確認するためのメッセージが印字されます。

[Standby LED] Set Green Save setting : Feed SW Discard setting : Power SW
--

図 11-5 設定値確認メッセージ
(例：Greenを選択した場合)

設定値をメモリに保存する場合は、フィードスイッチを押してください。図 11-2が印字されます。

選択した内容を破棄する場合は、電源スイッチを押してください。図 11-3の例のように、機能選択メッセージが印字されます。ここで「0：Return to MS selection」を選択すると、機能選択は行われず、図 11-2が印字されます。

続けて機能設定する場合は、④から操作してください。

- ⑧ 機能設定モードを終了する場合は、図 11-2において「0：Exit」を選択してください。
再びテスト印字と図 11-1が印字されますので、機能設定が正しく反映されていることをご確認ください。

12 ホスト装置との接続

このプリンタはUSBインタフェース、イーサネットインタフェースならびにBluetoothインタフェースを使用できます。

使用できるインタフェースが機種によって異なりますので、ご使用になるインタフェース方式の機種をお買い求めください。

機種	インタフェース	製品名
USB+USBホストモデル	USBインタフェース	RP-F10-x27J1-2
イーサネット+USBホストモデル	イーサネットインタフェース	RP-F10-x27J1-3
Bluetooth+USBホストモデル	Bluetoothインタフェース	RP-F10-x27J1-4
USB Type-C+Bluetooth+USBホストモデル	USBインタフェース Bluetoothインタフェース	RP-F10-x27J1-5

USBインタフェースあるいはイーサネットインタフェースで通信を行う場合は、別途各インタフェースのケーブルが必要になります。インタフェース仕様の詳細は「18 仕様」を参照してください。

通信速度は、ソフトウェアの処理や印字内容によって、遅くなる場合があります。

■USBインタフェース／イーサネットインタフェース

- ① プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
- ② ご使用になるインタフェースのケーブルを、プリンタ背面のインタフェースコネクタに接続してください。（USBケーブルを接続した場合は図 12-2、USB Type-Cケーブルを接続した場合は図 12-4のようにワイヤクリップでケーブルをロックしてください。）
- ③ プリンタの電源スイッチをオンにして、ホスト装置からプリンタにデータを送信してください。
- ④ データが正しく印字されていることを確認してください。

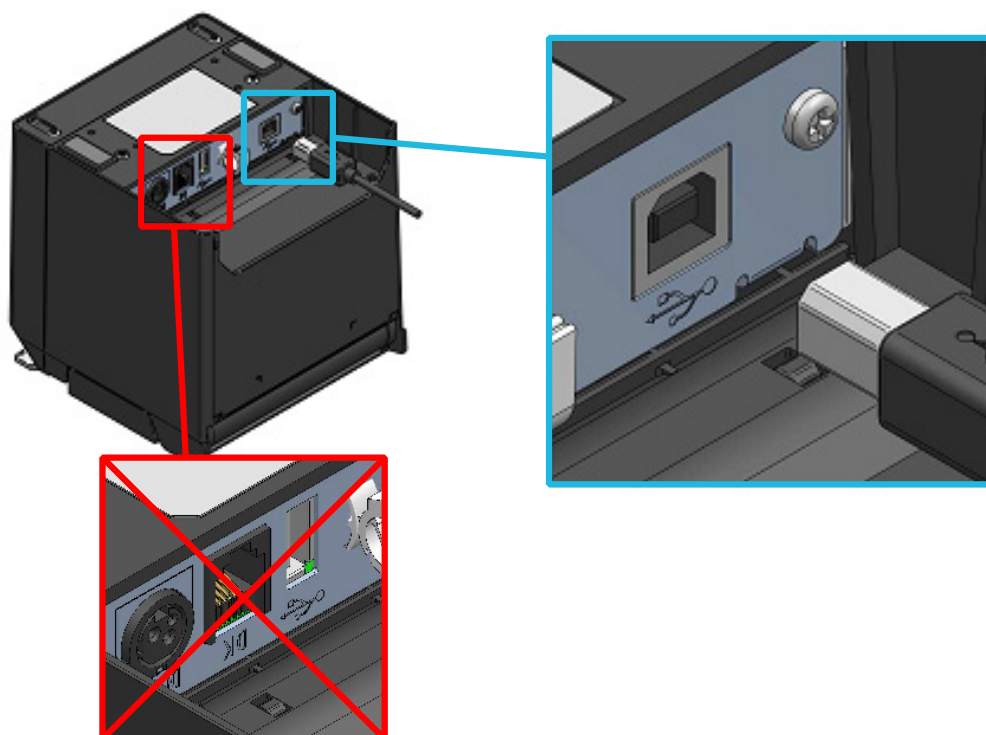


図 12-1 プリンタとUSBケーブルの接続

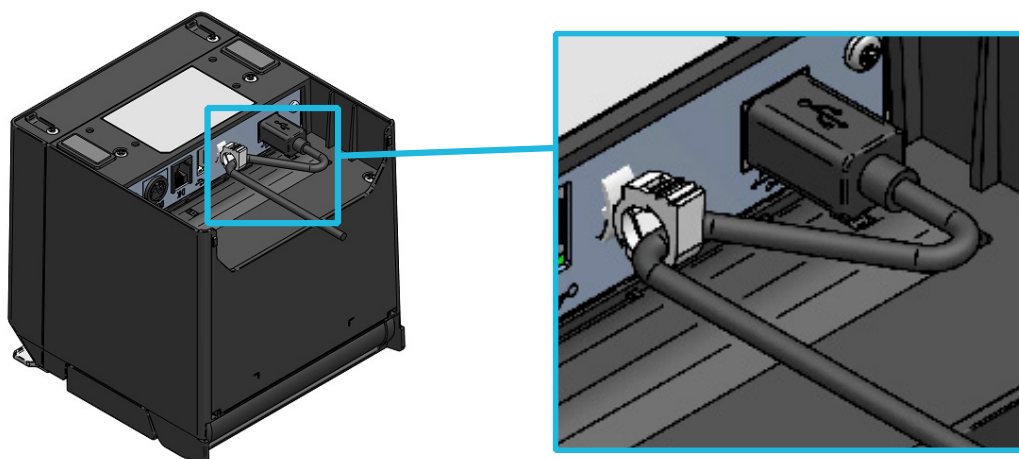


図 12-2 プリンタとUSBケーブルのロック

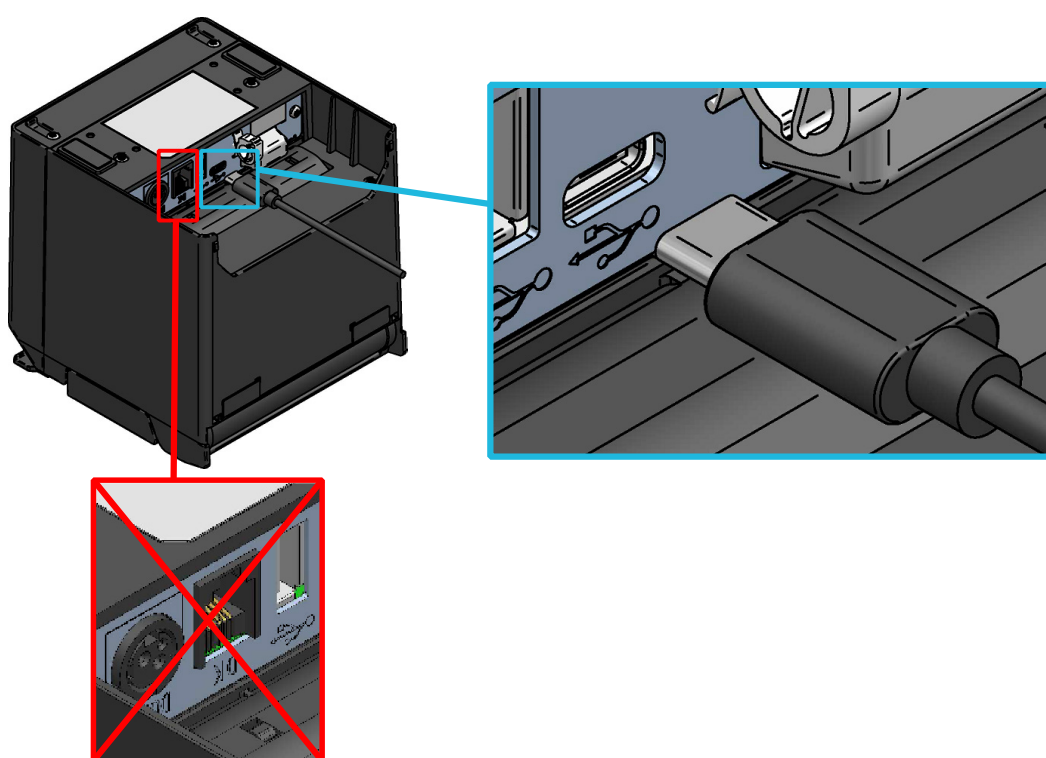


図 12-3 プリンタとUSB Type-Cケーブルの接続

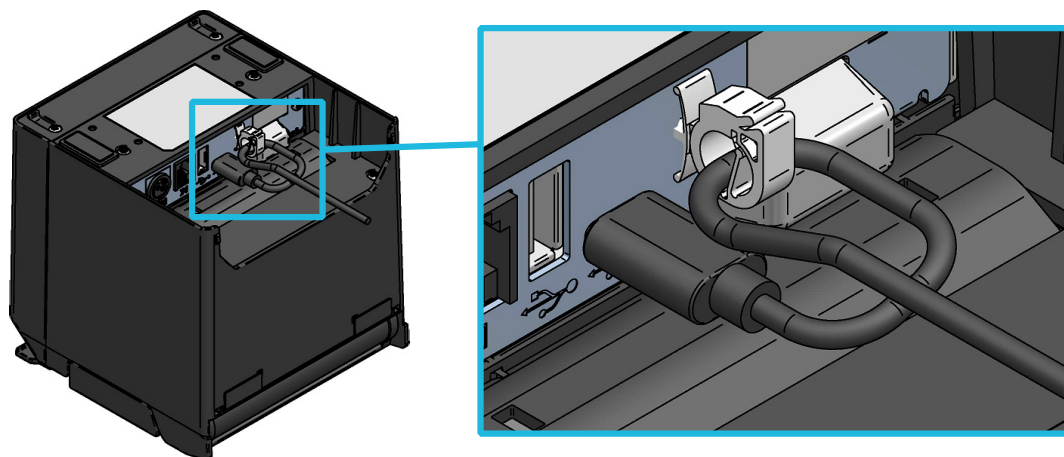


図 12-4 プリンタとUSB Type-Cケーブルのロック

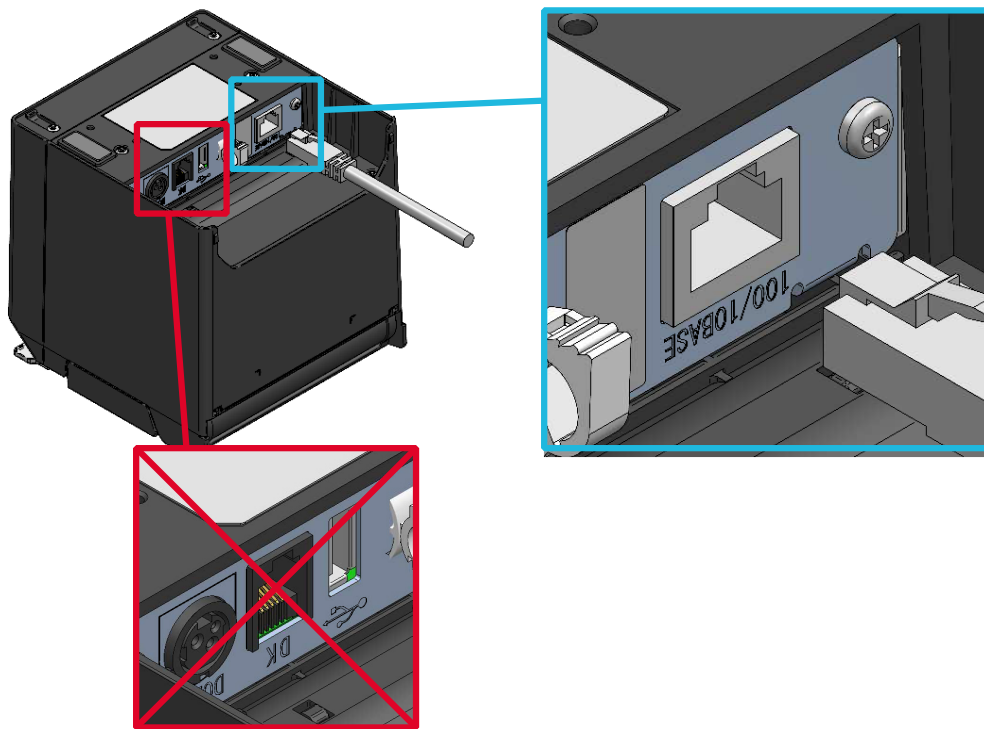


図 12-5 プリンタとイーサネットケーブルの接続

注 意

- ◆ インタフェースコネクタに、各インタフェースのケーブルを接続する際には、最後までプラグを押し込んでください。
- ◆ USBケーブルやUSB Type-Cケーブル、イーサネットケーブルを、ドロウキック用コネクタに絶対に接続しないでください。
- ◆ インタフェースコネクタには、モジュラケーブル及び電話回線等、他のインタフェースケーブルのプラグを絶対に接続しないでください。
- ◆ 屋外に架空配線されたLANケーブルは、必ず他のサージ対策の施された機器を経由してから接続してください。誘導雷によって機器が故障する恐れがあります。
- ◆ USB Type-C+Bluetooth+USBホストモデルでUSB通信を行うには、ホスト装置にUSB Power Deliveryが実装されている必要があります。接続可能な機種については、弊社営業までご確認ください。

■Bluetoothインタフェース

- ① プリンタの電源スイッチをオンにして、ホスト装置とのペアリングを行ってください。
またプリンタに内蔵されているNFC（近距離無線通信技術）タグを利用して、NFC対応のAndroid端末とプリンタ間の自動ペアリングが可能です。

注意

- ◆ 機器間通信のためのアプリケーションは、別途Android端末に追加する必要があります。

- ② 工場出荷状態では、プリンタの電源がオフの状態です。電源スイッチを7秒以上押し続けると、プリンタは約60秒間のペアリングモードになります。ペアリングモードになるとLEDが1秒間に2回の点滅になります。この間にホスト装置とのペアリングを行ってください。
ペアリングはSSP（Simple Secure Pairing）で行われますが、ホスト装置がSSPに対応していない場合、または機能設定でセキュリティモードをPINに設定している場合はPINコードを使用します。PINコードの工場出荷時の値は“0000”です。
- ③ ホスト装置とのBluetooth接続を行ってください。
- ④ ホスト装置にて交信状態を確認してください。
- ⑤ ホスト装置からデータを送信し、正しく印字されることを確認してください。

USB Type-C+Bluetooth+USBホストモデル

USB Type-C+Bluetooth+USBホストモデル（RP-F10-x27J1-5）は、インタフェースコネクタ（USB Type-C）にUSB接続されている場合、USB通信が優先されます（工場出荷時）。

ホスト装置への給電など、USBポートでデバイスを充電しながらBluetooth通信する場合は、USB通信を無効に設定してください。

USB通信の有効/無効の切り替え方法は、プリンタの状態が「電源オン（印字待機時）」の時に、電源スイッチを3秒以内に3回押してください。「印字中」の時には切り替えを行わないでください。プリンタの状態については、LED表示で確認できます。

青： USB通信有効、iOS/Android接続モード

緑： USB通信有効、Windows接続モード

アクア：USB通信無効

詳細は「6 プリンタ各部の名称」の「■LED表示」を参照してください。



警告

- ◆ 医療用機器や電子機器に影響を及ぼす場合があります。各機器メーカーあるいは販売元に電波による影響についてご確認ください。
- ◆ 医療機関内で使用する場合は、その指示に従ってください。
- ◆ その他、使用が禁止されている地域や区域では使用しないでください。

このプリンタは電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備を内蔵しており、その無線設備は技術基準適合証明を受けています。したがって、プリンタを使用するときに、無線局の免許は必要ありません。

ただし、下記の行為は法律により罰せられますので、行わないでください。

- プリンタに内蔵している無線設備を分解、改造する。
- プリンタに内蔵している無線設備に印刷された証明記号、番号を改竄（かいざん）する。

ヒント

- 通信距離は約10mです。ただし、周辺の電波状態や障害物などにより異なる場合があります。
- Android端末の場合、NFCやQRコードを使ってペアリングを行うことが可能です。
その場合は、弊社から提供するAndroidアプリが必要になります。
Androidアプリ「SII Printer Utility」をGoogle Playからダウンロードして、ホスト装置にインストールしてください。
「SII Printer Utility」を使用した場合のペアリングの手順は、下記を参照してください。
- NFCを使用したペアリングの手順
ホスト装置のBluetooth機能及びNFC機能をオンにして、「SII Printer Utility」を起動してください。
「選択中のデバイス」欄から[デバイス未選択]または選択中のデバイスをタップしてください。
「デバイス検索」で表示される「NFC検索」をタップしてください。
プリンタの電源スイッチをオンにして、プリンタのNマークの位置にホスト装置のNFCのアンテナを近づけてください。
ペアリングが開始されます。
- QRコードを使用したペアリングの手順
ホスト装置のBluetooth機能をオンにして、「SII Printer Utility」を起動してください。
「選択中のデバイス」欄から[デバイス未選択]または選択中のデバイスをタップしてください。
「デバイス検索」で表示される「QRCODE検索」をタップしてください。
プリンタのテスト印字を実行してください。テスト印字の方法については、
「10 テスト印字」を参照してください。
ホスト装置のカメラで、テスト印字に印字されたQRコードを読み取ってください。
ペアリングが開始されます。

13 周辺機器との接続

このプリンタは表 13-1の周辺機器（指定周辺機器及び推奨製品）を、指定コネクタに接続することにより使用できます。

指定周辺機器及び推奨製品については、「19 オプション製品、消耗品構成」を参照してください。

表 13-1 接続可能周辺機器

指定コネクタ（インタフェース）	周辺機器
ドロワキック用コネクタ*	ドロワ
	外付けブザー
USBホスト用コネクタ （USBホストインタフェース）	カスタマーディスプレイ
	バーコードスキャナー
	USBハブ

*: ドロワキック用コネクタには、複数の周辺機器を同時接続できません。

■ ドロワの接続

- ① プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
- ② モジュラケーブルのプラグを、プリンタ背面のドロワキック用コネクタに接続してください。
- ③ プリンタの電源スイッチをオンにしてください。

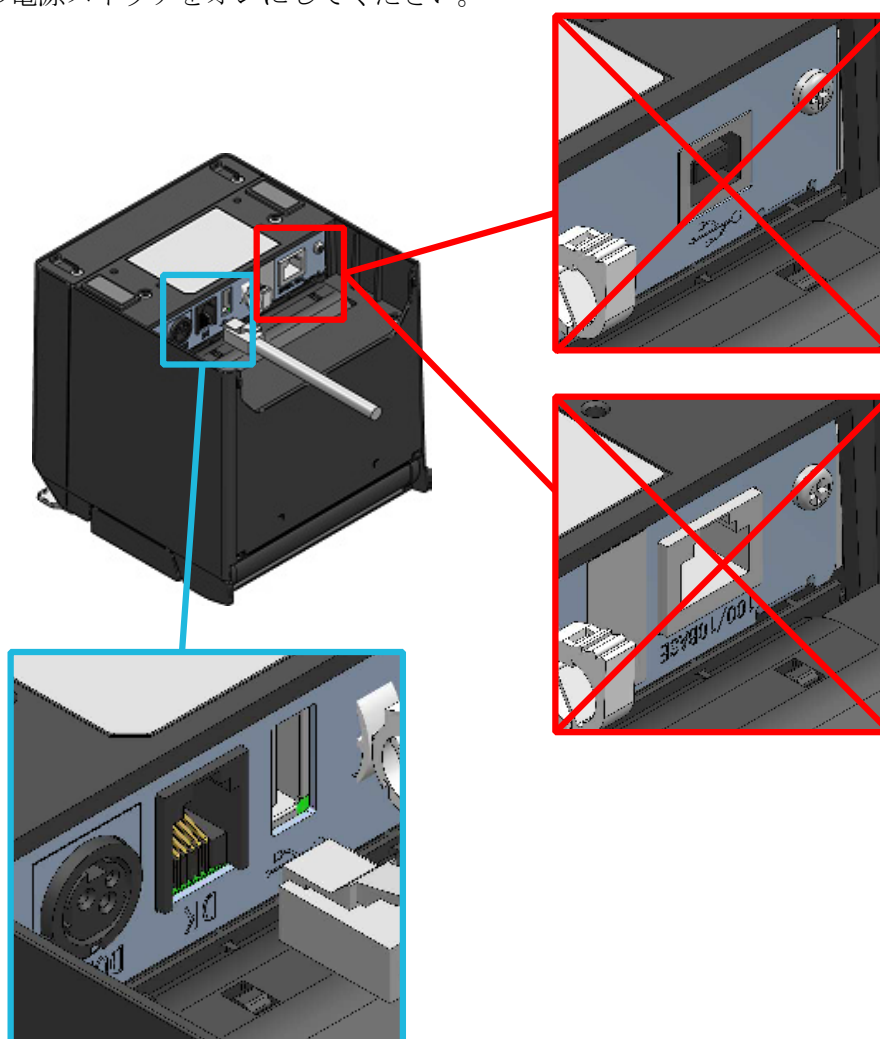


図 13-1 プリンタとモジュラケーブルの接続

注 意

- ◆ モジュラケーブルの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。絶対にケーブルを引っ張らないでください。
- ◆ モジュラケーブルは、USBインタフェースやイーサネットインタフェース等、他のインタフェースコネクタに絶対に接続しないでください。
- ◆ ドロワキック用コネクタには、他のインタフェースケーブル及び電話回線等のプラグを絶対に接続しないでください。

■外付けブザーの接続

- ① プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
- ② モジュラケーブルの一方のプラグを、外付けブザーの接続用コネクタに接続してください。

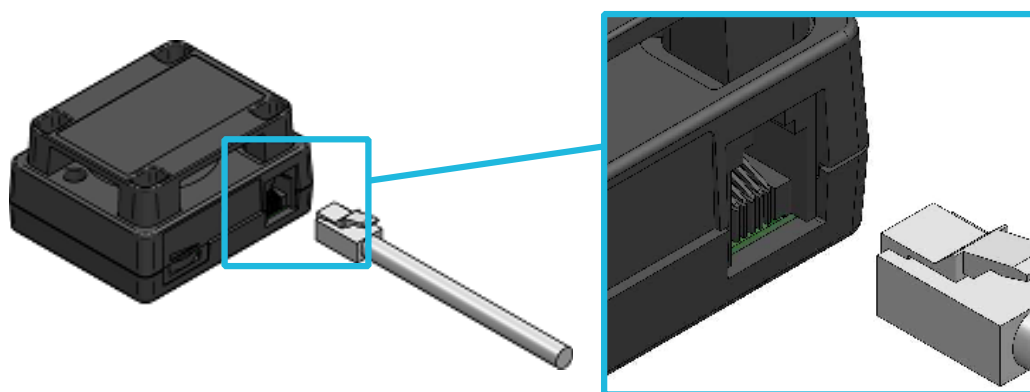


図 13-2 外付けブザーとモジュラケーブルの接続

- ③ モジュラケーブルのもう一方のプラグを、プリンタ背面のドロワキック用コネクタに接続してください。
- ④ 取り付け用の両面テープの片側の剥離紙を剥がして、外付けブザーの下面に貼り付けてください。

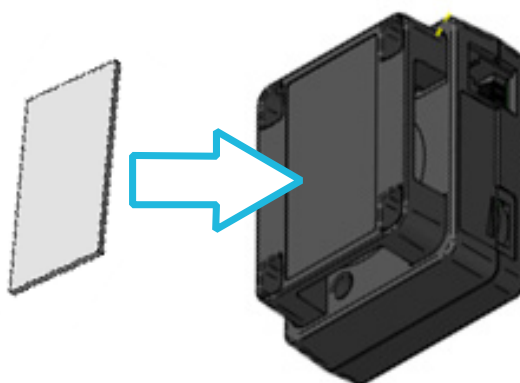


図 13-3 外付けブザーへの両面テープ貼り付け

- ⑤ ブザーに貼り付けた両面テープのもう一方の剥離紙を剥がして、外付けブザーをプリンタの取り付け位置に貼り付けてください。
- ⑥ プリンタの電源スイッチをオンにしてください。

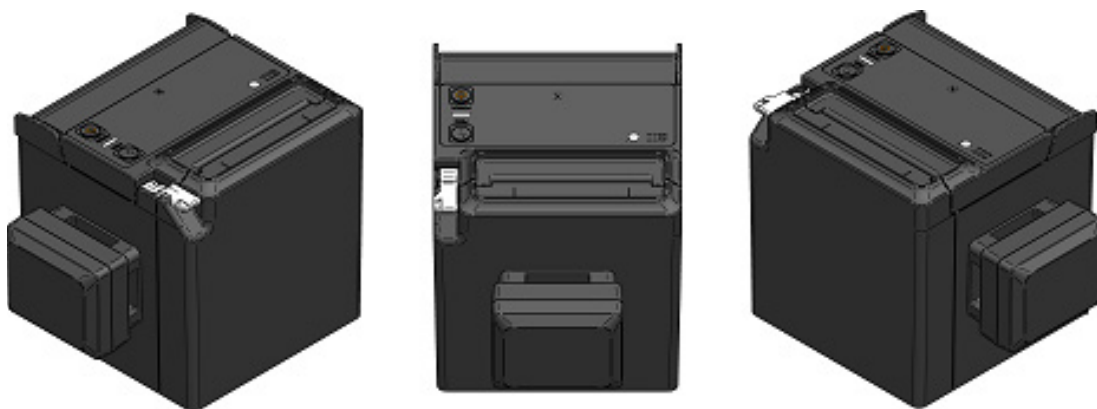


図 13-4 外付けブザーの取付位置例（上排出）



図 13-5 外付けブザーの取付位置例（前排出）

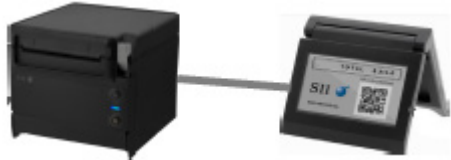

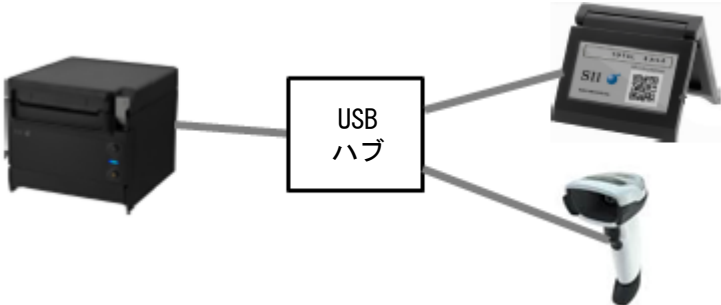
注 意

- ◆ 両面テープを貼り付けるときには、貼り付け位置に汚れや異物がないように汚れのない布等で拭き取ってから貼り付けてください。

■USBホストインタフェースの接続

USBホストインタフェースにおける周辺機器は、表 13-2のパターンで接続できます。

表 13-2 USBホストインタフェースの接続パターン

接続パターン	接続イメージ
カスタマーディスプレイの接続	
バーコードスキャナーの接続	
カスタマーディスプレイと バーコードスキャナーの 同時接続*	

*: USBハブを介して同時接続できる最大接続台数は、カスタマーディスプレイ、バーコードスキャナーそれぞれ1台ずつの合計2台です。それ以上は接続しないでください。

- ① プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
- ② USBホストインタフェースのケーブルのプラグを、プリンタ背面のUSBホスト用コネクタに接続してください。

図 13-7のようにワイヤクリップでケーブルをロックしてください。USB Type-C+Bluetooth+USBホストモデルは図 13-8のようにケーブルを2本ともロックしてください。

- ③ プリンタの電源スイッチをオンにしてください。

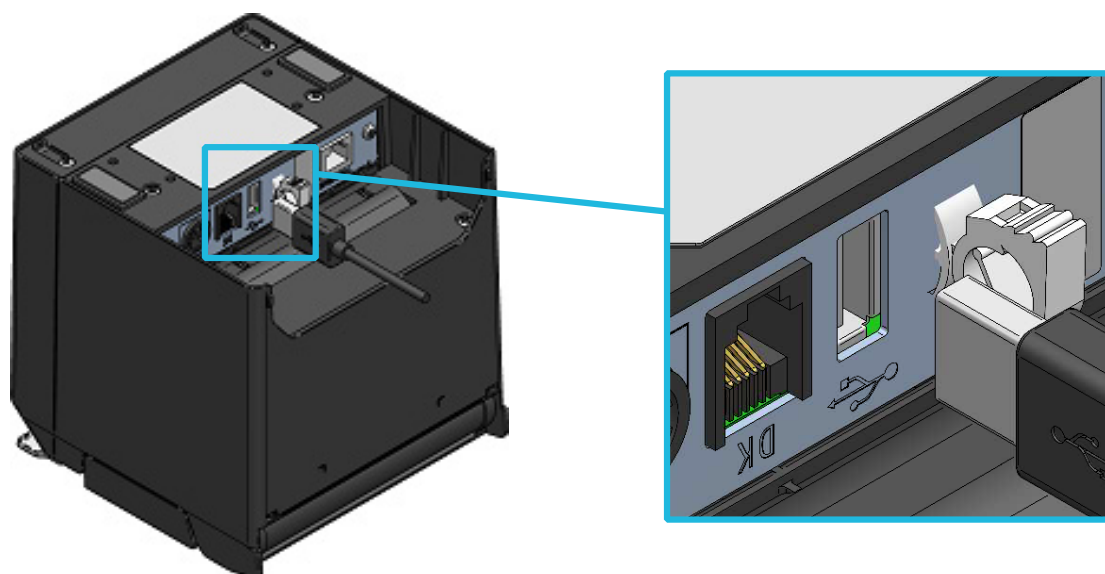


図 13-6 プリンタとUSBケーブル（USBホスト）の接続

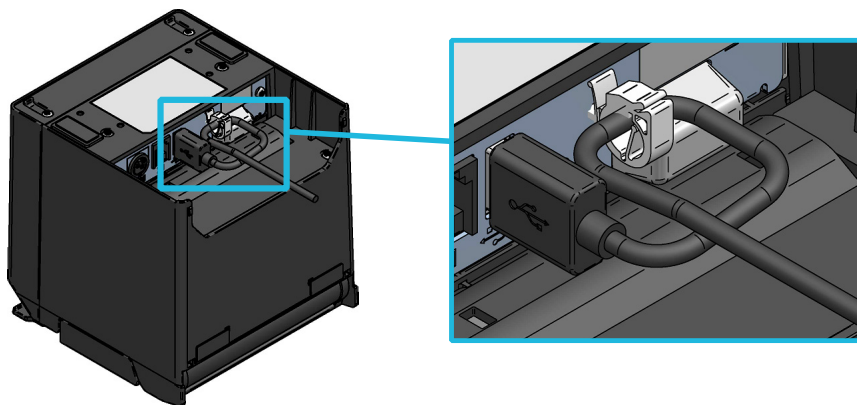


図 13-7 プリンタとUSBケーブル（USBホスト）のロック

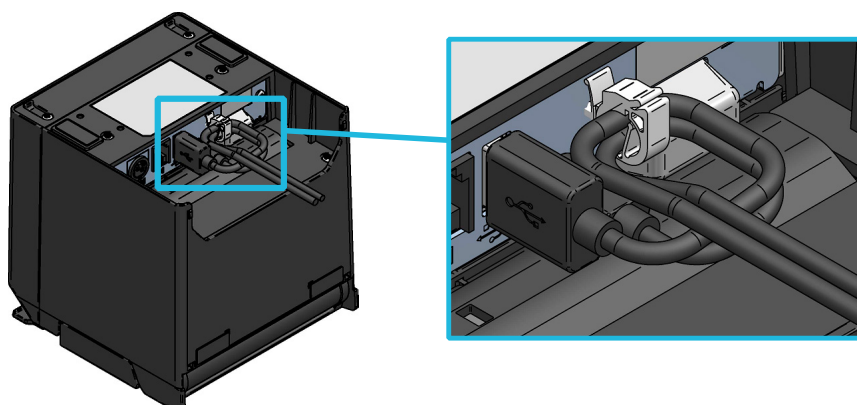


図 13-8 プリンタとUSBケーブル2本のロック（USB Type-C+Bluetooth+USBホストモデル）

注 意

- ◆ USBホスト用コネクタには、指定周辺機器及び推奨製品以外は接続しないでください。
- ◆ 周辺機器を接続する際は、必ずプリンタの電源をオフにしてください。
- ◆ バーコードスキャナーを使用する場合は、下記のように設定してください。
設定方法については、各社バーコードスキャナーの説明書を参照してください。
 - ・ HIDクラスの場合は、キーボードタイプ（カントリーコード）の設定を「英語」に設定してください。
 - ・ 2次元バーコードに漢字などのマルチバイト文字が含まれる場合、CDCクラスに変更してください。
 - ・ 2次元バーコードのデータにASCII制御コード（00H～1FH）が含まれる場合、制御コードは取得できません。
 - ・ 下記の問題を避けるため、サフィックス（CRなどの改行コード）を設定してください。
 - ・ 複数のバーコードを短い間隔でスキャンした際に、1回の応答で複数のバーコードデータが連続して応答する問題
 - ・ 1つのバーコードをスキャンした際に、複数の応答にバーコードデータが分割されて応答する問題

ヒント

- ・ バーコードスキャナー本体の性能や品質は、製造メーカーの基準に準じます。
- ・ 2次元バーコードに大量データを含めた場合はHIDクラスでは読み込む時間がかかることがあります。CDCクラスに変更することで速く読み込めます。
- ・ プリンタに接続するバーコードスキャナーとUSBハブについては「19 オプション製品、消耗品構成」の「■推奨製品」で動作確認をしています。

14 58mm紙幅使用時の設定方法

- ① プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
- ② リリースレバーを操作し、ペーパーカバーを開けてください。
- ③ 付属のパーテションプレートL、パーテションプレートRを、図 14-1のように斜めにしてペーパーホルダ内に入れてください。

説明の為、図中のパーテションプレートL、パーテションプレートRを白色で表示します。

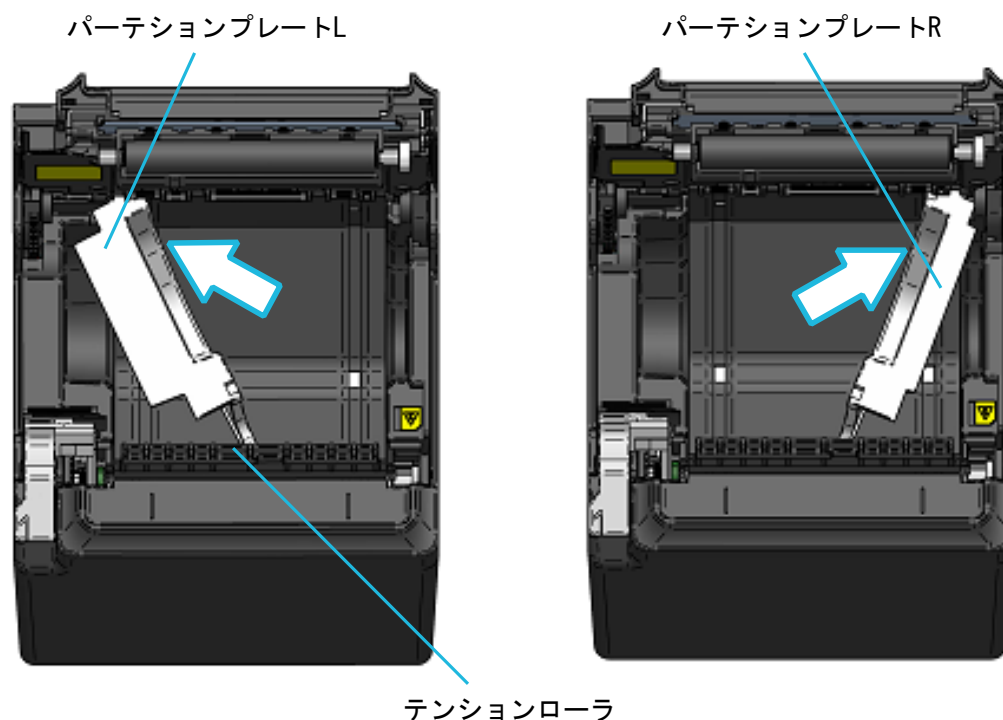


図 14-1 パーテションプレートの取り付け (1)

- ④ パーテションプレートL、パーテションプレートRを、図 14-2のようにペーパーホルダの中で矢印方向に回転させて、ペーパーホルダ側面とパーテションプレートを平行にしてください。

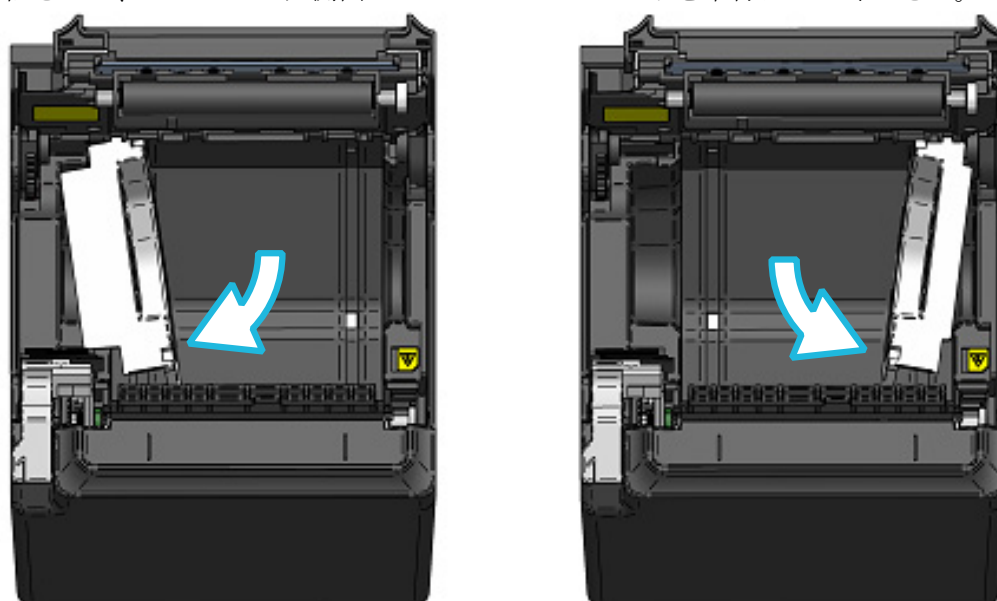


図 14-2 パーテションプレートの取り付け (2)

- ⑤ パーティションプレートL、パーティションプレートRを、ペーパーホルダ内側面に沿わせながら図 14-3 の矢印方向にスライドさせてください。
パーティションプレートL、パーティションプレートRの上部にあるツメ（各2ヶ所）が、ペーパーホルダの溝に引っ掛かるまで差し込んでください。

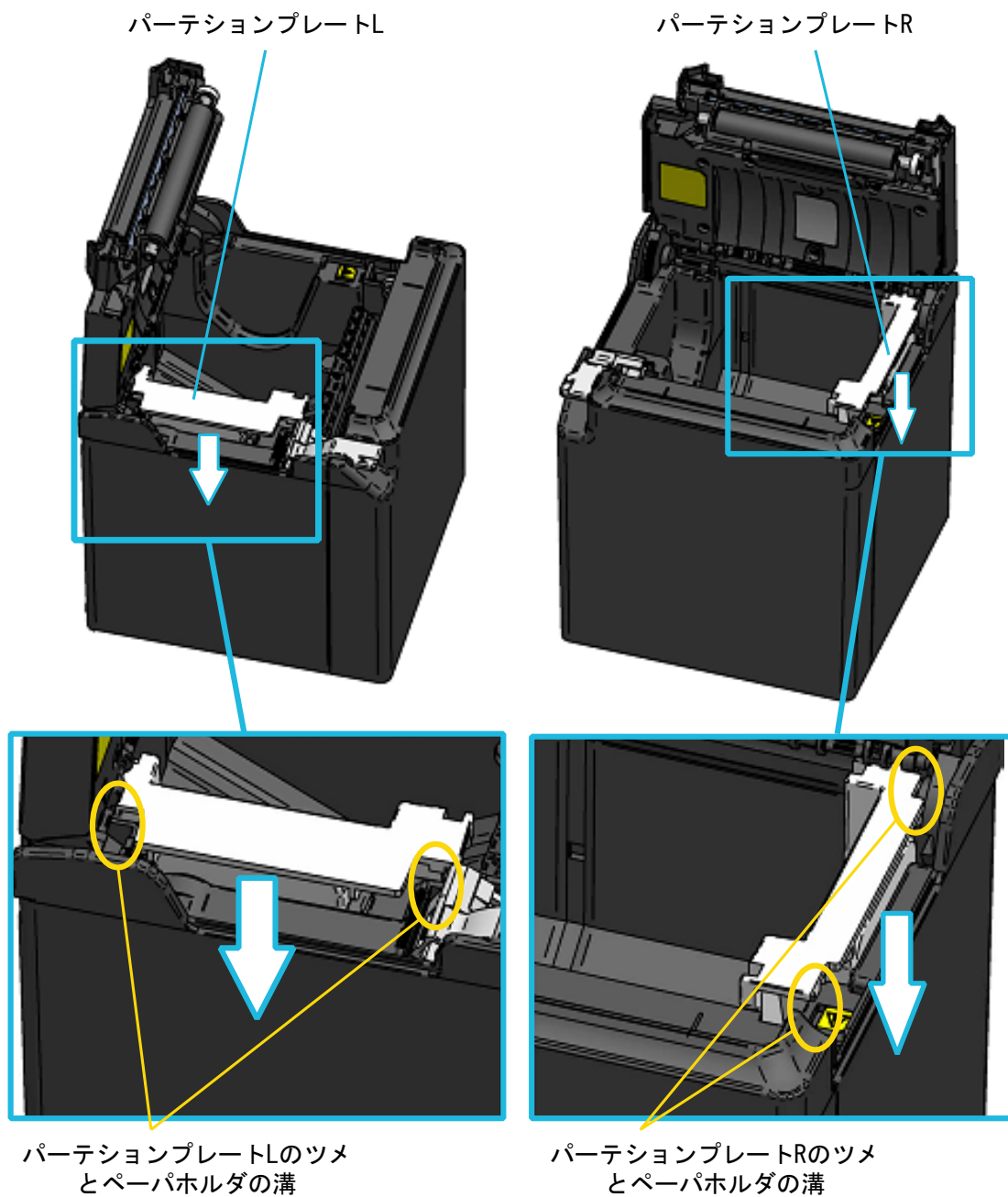


図 14-3 パーティションプレートの取り付け（3）

- ⑥ プリンタを裏返して、パーテションプレートL、パーテションプレートRの突起が、ペーパーホルダの穴（図 14-4の矢印箇所）に正しく入っていることを確認してください。

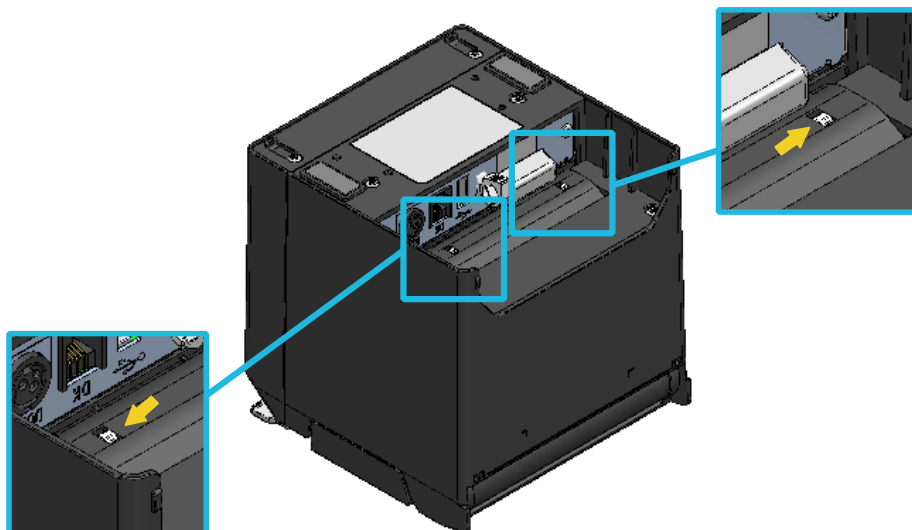


図 14-4 パーテションプレートの取り付け確認

- ⑦ 「18 仕様」及び「20 メモリスイッチ設定内容一覧」を参照して、MS4-4（紙幅選択）を58 mmに設定してください。

注意

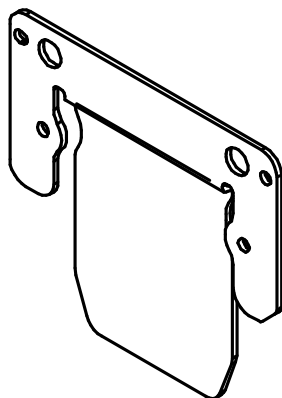
- ◆ 紙幅の設定は初めてプリンタをご使用される前に行ってください。プリンタのご使用を始められた後は、紙幅を切り替えないでください。故障する恐れがあります。
- ◆ テンションローラを強く押したり、引っ張ったりしないでください。
- ◆ 58mm幅感熱紙を使用すると、プラテンがサーマルヘッドに接触するため、プラテンのゴムカスが出る場合があります。印字品質を保つため、定期的にゴムカスを除去してください。

15 オプション製品の取り付け方法

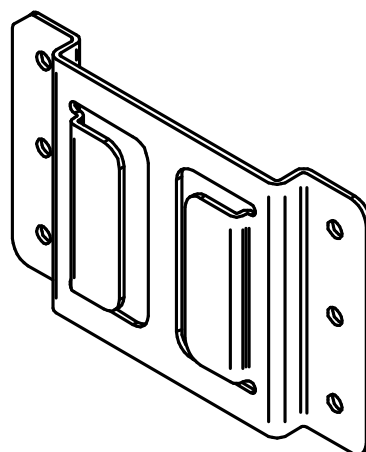
■ 壁掛キット (WLK-B01-1)

① 準備

製品と付属品が入っていることを確認してください。



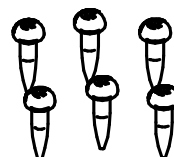
プリンタブラケット



ウォールハンギングブラケット



プリンタ取り付けねじ 4本
(タッピングねじ 3×6)



ウォールハンギングブラケット
取り付けねじ 6本
(木ねじ 3.8×18)

図 15-1 壁掛キット (WLK-B01-1)

② プリンタブラケットの取り付け

図 15-2のようにプリンタ取り付けねじ4本で締め付け、しっかりと固定してください。
ねじ締めトルクは $39.2\text{cN}\cdot\text{m}$ ($4\text{kgf}\cdot\text{cm}$) としてください。

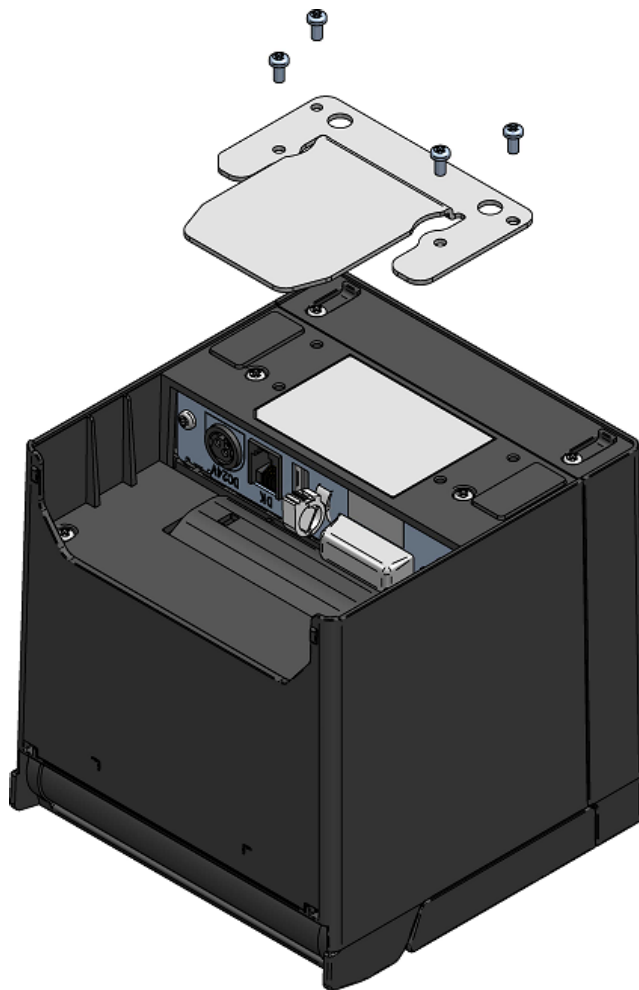


図 15-2 プリンタブラケットの取り付け

注 意

- ◆ 作業をする前にプリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
- ◆ プリンタから全てのケーブルを外してください。

③ ウォールハンギングブラケットの取り付け

ウォールハンギングブラケットを設置面に固定し、付属のウォールハンギングブラケット取り付けねじ6本でしっかりと固定してください。WLK-B01-1は、壁に取り付けることを前提としています。取り付け後は、ウォールハンギングブラケットにガタツキなどが無く、しっかりと壁に固定されていることを確認してください。

— 注 意 —

- ◆ 付属のウォールハンギングブラケット取り付けねじは、木材への取り付け用のねじです。木材以外には使用しないでください。

④ プリンタの取り付け

図 15-3のようにプリンタをウォールハンギングブラケットに上から下にスライドし、プリンタブラケットをウォールハンギングブラケットに差し込み使用してください。

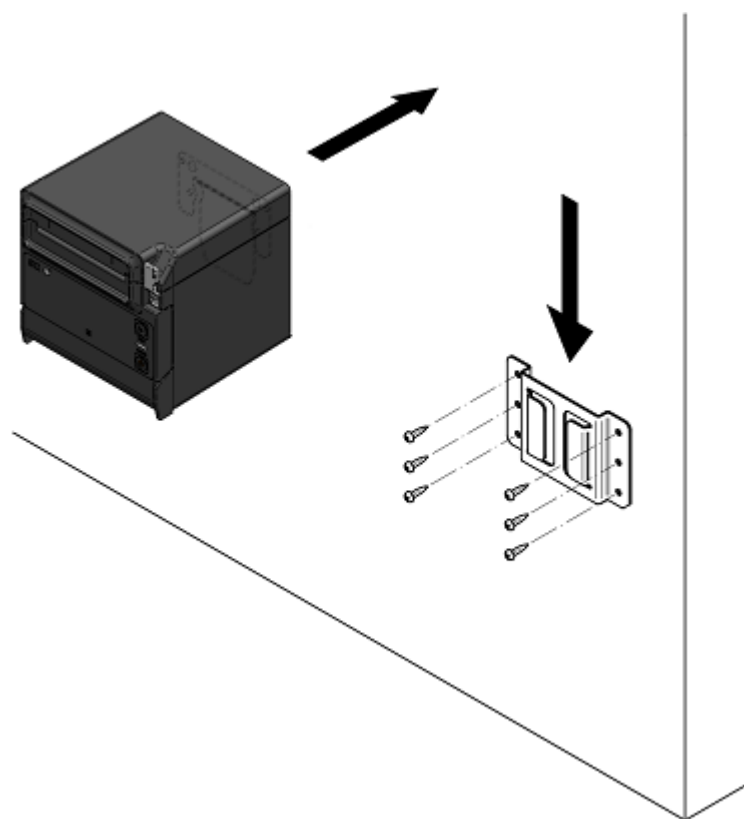


図 15-3 プリンタの取り付け

— 注 意 —

- ◆ 掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、プリンタは確実に壁に設置してください。落下により、ケガ及び器物を破損する恐れがあります。

16 プリンタのメンテナンス

プリンタのサーマルヘッドは基本的にメンテナンスの必要はありません。

サーマルヘッドに紙粉が堆積した時は、サーマルヘッドのクリーニングを行うと、プリンタの印字品質を長期間に渡って維持できます。

■サーマルヘッド／ゴム足のクリーニング

- ① プリンタの電源スイッチをオフにしてください。
- ② ACケーブルのACプラグをコンセントから抜いてください。
- ③ ペーパーカバーを開けてください。
- ④ 少量のエチルアルコールで湿らせた綿棒で、サーマルヘッドやゴム足の汚れを拭き取ってください。
- ⑤ サーマルヘッドに付着したエチルアルコールが完全に揮発してから、ペーパーカバーを閉じてください。

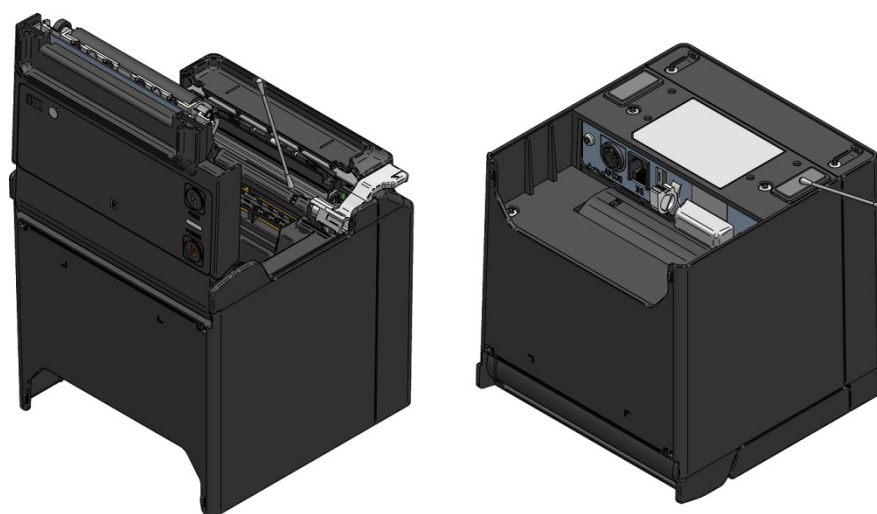


図 16-1 サーマルヘッド／ゴム足のクリーニング

注 意

- ◆ サーマルヘッドのクリーニングは、サーマルヘッドの温度が下がってから行ってください。
- ◆ サーマルヘッドは必ず綿棒などのやわらかいもので拭いてください。
- ◆ プラテンはエチルアルコールで拭かないでください。印字品質に影響を及ぼすような異物がプラテンに付着した場合には、乾いた綿棒で異物に軽く触れて除去してください。
- ◆ プラテンに付いているギアには触れないようにしてください。印字品質が低下したり、故障の原因になる場合があります。
- ◆ ゴム足は特殊吸着構造となっています。ゴミや汚れ等がつきますとだんだん吸着しにくくなってきますが、その際クリーニングすると吸着力が復活します。

17 困った時に

修理を依頼される前に下記のことを確認してください。

■電源がオンにならない

- ◆ 指定のACアダプタを使用していますか。
- ◆ ACケーブルとACアダプタは正しく接続されていますか。
- ◆ ACアダプタとプリンタは正しく接続されていますか。

■何も印字されない・通信ができない

- ◆ インタフェースのケーブルは正しく接続されていますか。
- ◆ インタフェースのケーブルの仕様は合っていますか。
- ◆ 使用するインタフェースとプリンタは合っていますか。
- ◆ Bluetoothの交信状態は良好ですか。
- ◆ プリンタとホスト装置との通信条件は合っていますか。
- ◆ 指定感熱紙を使用していますか。また、感熱紙の表裏は正しいですか。

■エラー表示された時

- ◆ 「6 プリンタ各部の名称」の「■LED表示」を参照してください。
- ◆ プリンタの機能設定は合っていますか。

18 仕様

■ プリント仕様

項目	仕様
型名	RP-F10
印字方式	感熱方式
印字桁数 ^{*1}	紙幅80 mm: 24ドット × 12ドット 48桁 (42桁 ^{*2}) 16ドット × 8ドット 72桁 (64桁 ^{*2}) 紙幅58 mm: 24ドット × 12ドット 36桁 (30桁 ^{*2}) 16ドット × 8ドット 54桁 (45桁 ^{*2})
文字の大きさ (縦×横)	半角: 24ドット × 12ドット、16ドット × 8ドット 全角: 24ドット × 24ドット、16ドット × 16ドット
有効ドット数	紙幅80 mm: 576ドット (512ドット ^{*2}) 紙幅58 mm: 432ドット (360ドット ^{*2})
ドット密度	8 ドット/mm
紙幅/印字幅	80 mm / 72 mm (80 mm / 64 mm ^{*2}) 58 mm / 54 mm (58 mm / 45 mm ^{*2})
最高印字速度	250 mm/s
切断方式	スライド方式
切断種類	フルカット、パーシャルカット (中央1点残し)
動作温度	5℃ ～ 45℃
相対湿度 ^{*3}	10%RH ～ 90%RH
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	127 mm × 127 mm × 127 mm ^{*4}
質量	約840 g (感熱紙を除く)
入力電圧	DC24.0 V ±10%
消費電流 ^{*5}	待機時 : 平均約20 mA 印字時 (印字率 25%) : 最大約4.7 A 印字時 (印字率100%) : 最大約9.0 A

*1: 文字間スペース0ドット時の数値です。

*2: MS4-5 (有効ドット数選択) にて512 dots / 360 dotsを選択時

*3: 各温度での保証可能湿度は図 18-1の範囲内となります。

*4: 突起部を除く

*5: 条件: 動的分割288ドット印字

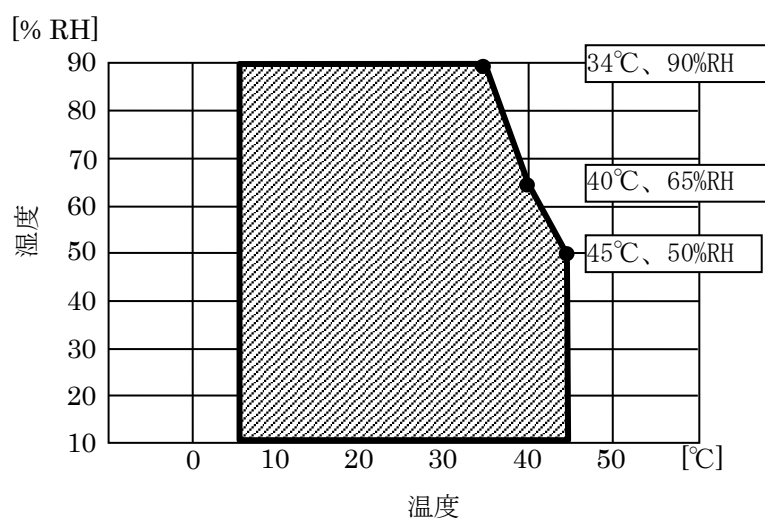


図 18-1 動作温湿度範囲

■ACアダプタ仕様

(指定オプション製品)

項目	仕様
型名	PW-G2421-W1
入力電圧	AC100-240 V、50/60 Hz
定格出力	DC24.0 V、2.1 A
外形寸法（幅×奥行×高さ）	120 mm × 52.5 mm × 32.5 mm*
質量	約260 g

*: ケーブル部を除く

■インタフェース仕様

USBインタフェース仕様

項目	仕様
バージョン	Ver. 2.0
プリンタデータ転送モード	バルク転送（12 Mbps）

イーサネットインタフェース仕様

項目	仕様
通信規格	10Base-T、100Base-TX

Bluetoothインタフェース仕様

項目	仕様
バージョン	Ver. 3.0
送信電力クラス	クラス2
プロファイル	SPP、iAP2

NFCタグ仕様

項目	仕様
通信規格	ISO14443 typeA
周波数	13.56 MHz

■販売対象国

プリンタ及び指定オプション製品の販売対象国は、下記の通りです。

✓：販売対象国

国/地域 ^{*1}	RP-F10		ACアダプタ	ACケーブル
	Bluetooth搭載モデル	その他のモデル		
日本	✓	✓	PW-G2421-W1	CB-JP07-20A CB-JP08-20A
EU EFTA	✓	✓		CB-CE04-20A CB-CE05-20A
トルコ	－	✓		
英国	✓	✓		CB-UK03-20A CB-UK04-20A
USA カナダ	✓	✓		CB-US05-20A CB-US06-20A
ブラジル	－	✓		*2

*1：記載国/地域以外での使用可否は弊社営業までご確認ください。

*2：ブラジル国内の安全規格に適合した全長2.0mのACケーブルをご使用ください。

19 オプション製品、消耗品構成

■ 指定オプション製品

名称	型名
ACアダプタ	PW-G2421-W1
ACケーブル*	CB-JP07-20A CB-JP08-20A CB-US05-20A CB-US06-20A CB-CE04-20A CB-CE05-20A CB-UK03-20A CB-UK04-20A
壁掛キット	WLK-B01-1
USBケーブル	IFC-U02-2
Powered USBケーブル	IFC-V01-1

*: コンセントの形状は国によって異なりますので、事前にご確認ください。

■ 指定周辺機器

名称	型名
ドロワ	DRW-A01 ^{*1}
外付けブザー	BZR-A01-1
カスタマーディスプレイ	DSP-A01-K1 ^{*2} DSP-A01-W1 ^{*2}

*1: 詳細は「サーマルプリンタRPシリーズ用 キャッシュドロワDRW-A01 取扱説明書」を参照してください。

*2: 詳細は「カスタマーディスプレイ DSP-A01シリーズ 取扱説明書」を参照してください。

■ 推奨製品（バーコードスキャナー）

型名	メーカー名	読み取り可能なバーコード
F560-GV-USB	CINO	1次元バーコード
DS4308-USBR	Zebra	1次元バーコード 2次元バーコード
DS4608-USBR	Zebra	1次元バーコード 2次元バーコード
Voyager 1450g	Honeywell	1次元バーコード 2次元バーコード

■ 推奨製品（USBハブ）

型名	メーカー名
A7516011	Anker
BSH4U120U3BK	BUFFALO
U3H-A416BBK	ELECOM

■ 指定ロール紙

型名	仕様
TP-E23C-1	紙幅58 mm
TP-B10CH	紙幅80 mm

■ 指定感熱紙*

型名	メーカー名
PD160R-N	王子製紙
TP50KR-2Y	日本製紙
TF60KS-E	日本製紙
P220VBB-1	三菱製紙
KT48FA	Papierfabrik August Koehler
Alpha400-2.1	Appvion

*: 弊社ではお取り扱いしておりません。

指定ロール紙及び指定感熱紙以外の感熱紙をご使用になった場合、印字品質やサーマルヘッドの寿命を保証できない場合があります。

20 メモリスイッチ設定内容一覧

 は初期設定です。

基本設定1

MS	機能	値	
		0	1
1-1～3	予約済み (Reserved)	-	固定
1-4～5	待機時LED選択 (Standby LED)	00B : アクア (Aqua) 01B : 緑色 (Green) 10B : 消灯 (Off) 11B : 青色 (Blue)	
1-6	予約済み (Reserved)	-	固定
1-7	ACによる電源自動ON選択 (Auto Activation by AC)	無効 (Disable)	有効 (Enable)
1-8	電源スイッチ機能選択 (Power SW)	無効 (Disable)	有効 (Enable)

基本設定2 (エラー発生時の外付けブザーの設定)

MS	機能	値	
		0	1
2-1～2	ブザー回数選択 (Buzzer Count)	00B : 鳴動無し (None) 01B : 1回 (Once) 10B : 3回 (Thrice) 11B : 鳴動継続 (Continue)	
2-3～4	ブザーパターン選択 (Buzzer Pattern)	00B : パターン1 (Pattern1) 01B : パターン2 (Pattern2) 10B : パターン3 (Pattern3) 11B : パターン4 (Pattern4)	
2-5	ブザー音量選択 (Buzzer Volume)	小 (Low)	大 (Loud)
2-6～8	予約済み (Reserved)	-	固定

基本設定3（カット処理終了時の外付けブザーの設定）

MS	機能	値	
		0	1
3-1～2	ブザー回数選択 (Buzzer Count)	00B : 鳴動無し (None) 01B : 1回 (Once) 10B : 3回 (Thrice) 11B : 5回 (Five Times)	
3-3～4	ブザーパターン選択 (Buzzer Pattern)	00B : パターン1 (Pattern1) 01B : パターン2 (Pattern2) 10B : パターン3 (Pattern3) 11B : パターン4 (Pattern4)	
3-5	ブザー音量選択 (Buzzer Volume)	小 (Low)	大 (Loud)
3-6～8	予約済み (Reserved)	-	固定

基本設定4

MS	機能	値	
		0	1
4-1～2	固定分割・動的分割ドット数選択 (Division Method)	00B : 固定2分割/動的96dots (2 div. / 96 dots) 01B : 固定2分割/動的144dots (2 div. / 144 dots) 10B : 固定2分割/動的144dots (2 div. / 144 dots) 11B : 固定2分割/動的288dots (2 div. / 288 dots)	
4-3	分割駆動方式選択 (Head Drive)	固定分割 (Fixed)	動的分割 (Dynamic)
4-4	紙幅選択 (Paper Width)	58 mm	80 mm
4-5	有効ドット数選択 (Number of Effective Dots)	512 dots / 360 dots	576 dots / 432 dots
4-6	予約済み (Reserved)	-	固定
4-7～8	印字最高速度選択 (Print Speed)	00B : 設定禁止 (Prohibition) 01B : 中速 (品質) (Middle(Quality)) 10B : 中速 (静音) (Middle(Silent)) 11B : 高速 (High)	

基本設定5

MS	機能	値	
		0	1
5-1	自動ステータス応答機能選択 (Auto Status Back)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
5-2	イニシャライズ完了応答選択 (Init. Response)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
5-3	エラー時データ破棄選択 (Error Through)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
5-4	出力バッファフル時 データ破棄選択 (Response Data Discarding)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
5-5	予約済み (Reserved)	-	固定
5-6～7	紙セット後の初期化動作選択 (Paper Set Handle)	00B : 無し (Disable) 01B : スタンプアンドカット (Stamp&cut) 10B : イニシャルカット (Standard) 11B : 無し (Disable)	
5-8	紙セット後の初期化動作 カットモード選択 (Cutting Method)	パーシャルカット (Partial)	フルカット (Full)

基本設定6

MS	機能	値	
		0	1
6-1～8	印字濃度選択 (Print Density)	00000000B : 70% 00000111B : 105% 00000001B : 75% 00001000B : 110% 00000010B : 80% 00001001B : 115% 00000011B : 85% 00001010B : 120% 00000100B : 90% 00001011B : 125% 00000101B : 95% 00001100B : 130% 00000110B : 100% 上記以外 : 禁止	

基本設定7

MS	機能	値	
		0	1
7-1～8	感熱紙選択 (Thermal Paper)	00000000B : Standard 00000001B : TP50KR-2Y 00000010B : PD160R 00000011B : TF60KS-E 00000100B : P220VBB-1 00000101B : Alpha400-2.1 00000110B : KT48FA 上記以外: 禁止	

基本設定13

MS	機能	値	
		0	1
13-1	漢字コード体系選択 (Kanji Code)	シフトJISコード (Shift-JIS Code)	JISコード (JIS Code)
13-2	180° 反転機能選択 (Reverse Function)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
13-3	リアルタイムコマンド選択 (Realtime Command)	無効 (Disable)	有効 (Enable)
13-4～8	予約済み (Reserved)	-	固定

国際文字設定

MS	機能	値	
		0	1
15	国際文字設定 (International Character)	00000000B : アメリカ (USA) 00000001B : フランス (France) 00000010B : ドイツ (Germany) 00000011B : イギリス (United Kingdom) 00000100B : デンマーク I (Denmark I) 00000101B : スウェーデン (Sweden) 00000110B : イタリア (Italy) 00000111B : スペイン I (Spain I) 00001000B : 日本 (Japan) 00001001B : ノルウェー (Norway) 00001010B : デンマーク II (Denmark II) 00001011B : スペイン II (Spain II) 00001100B : ラテンアメリカ (Latin America) 00010001B : アラビア (Arabia) 上記以外: 禁止	

文字コードテーブル設定

MS	機能	値	
		0	1
16	文字コードテーブル設定 (Character Code Table)	00000000B : USA, Standard Europe (Code Page437) 00000001B : Katakana 00000010B : Multilingual (Code Page850) 00000011B : Portuguese (Code Page860) 00000100B : Canadian-French (Code Page863) 00000101B : Nordic (Code Page865) 00001101B : Turkish (Code Page857) 00001110B : Greek (Code Page737) 00001000B : Latin (Code Page1252) 00001001B : Russian (Code Page866) 00001010B : Eastern Europe (Code Page852) 00001011B : Euro (Code Page858) 00100010B : Cyrillic (Code Page855) 00100101B : Arabic (Code Page864) 00101101B : Central European (Code Page1250) 00101110B : Cyrillic (Code Page1251) 00101111B : Greek (Code Page1253) 00110000B : Turkish (Code Page1254) 11111111B : ユーザページ (User Page) 上記以外: 禁止	

基本設定17

MS	機能	値	
		0	1
17-1～2	用紙節約設定 (Paper Saving)	00B : モード1 (Mode1) 01B : モード2 (Mode2) 10B : モード3 (Mode3) 11B : 縮小なし (Disable)	
17-3	用紙カット後の逆方向紙送り設定 (Backfeed After Cut)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
17-4～8	予約済み (Reserved)	-	固定

基本設定18 (コマンドでの外付けブザー設定)

MS	機能	値	
		0	1
18-1～2	ブザー回数選択 (Buzzer Count)	00B : 鳴動無し (None) 01B : 1回 (Once) 10B : 3回 (Thrice) 11B : 5回 (Five Times)	
18-3～4	ブザーパターン選択 (Buzzer Pattern)	00B : パターン1 (Pattern1) 01B : パターン2 (Pattern2) 10B : パターン3 (Pattern3) 11B : パターン4 (Pattern4)	
18-5	ブザー音量選択 (Buzzer Volume)	小 (Low)	大 (Loud)
18-6～8	予約済み (Reserved)	-	固定

USBホスト設定

MS	機能	値	
		0	1
38-1	スキャナー自動ステータス応答機能選択 (Scanner Auto Status Back)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
38-2～8	予約済み (Reserved)	-	固定

Bluetooth通信設定

MS	機能	値	
		0	1
39-1	iOS自動接続選択 (Auto Connection)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
39-2	セキュリティモード選択 (Security Mode)	PINコード (PIN)	SSP (SSP)
39-3	検索応答選択 (Inquiry Response)	常時応答 (Always)	ペアリングモード (Pairing Mode)
39-4	アソシエーションモデル選択 (AssocModel)	Numeric Comparison (Numeric Comparison)	Just Works (Just Works)
39-5～8	予約済み (Reserved)	-	固定

USB通信設定

機能	値	
USBデバイスクラス (USB Device Class)	プリンタ (Printer)	ベンダー (Vendor)
USB通信* (USB Communication)	有効 (Enable)	無効 (Disable)
接続モード* (Connection Mode)	iOS/Android	Windows

*: USB Type-C+Bluetooth+USBホストモデルのみ



セイコーインスツル株式会社

プリントシステム事業部

千葉県千葉市美浜区中瀬1-8 〒261-8507

電話番号：043-211-1212（直通） ファクシミリ：043-211-8037

ホームページ：<https://www.sii-ps.com>

ダウンロードページ：<https://www.sii.co.jp/sps/download/index.html>

大阪営業所

大阪府大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館 〒531-0072

電話番号：06-7711-0858（直通） ファクシミリ：06-7711-0856

©本書の内容は、製品の改良に伴い、予告なしに変更することがあります。
